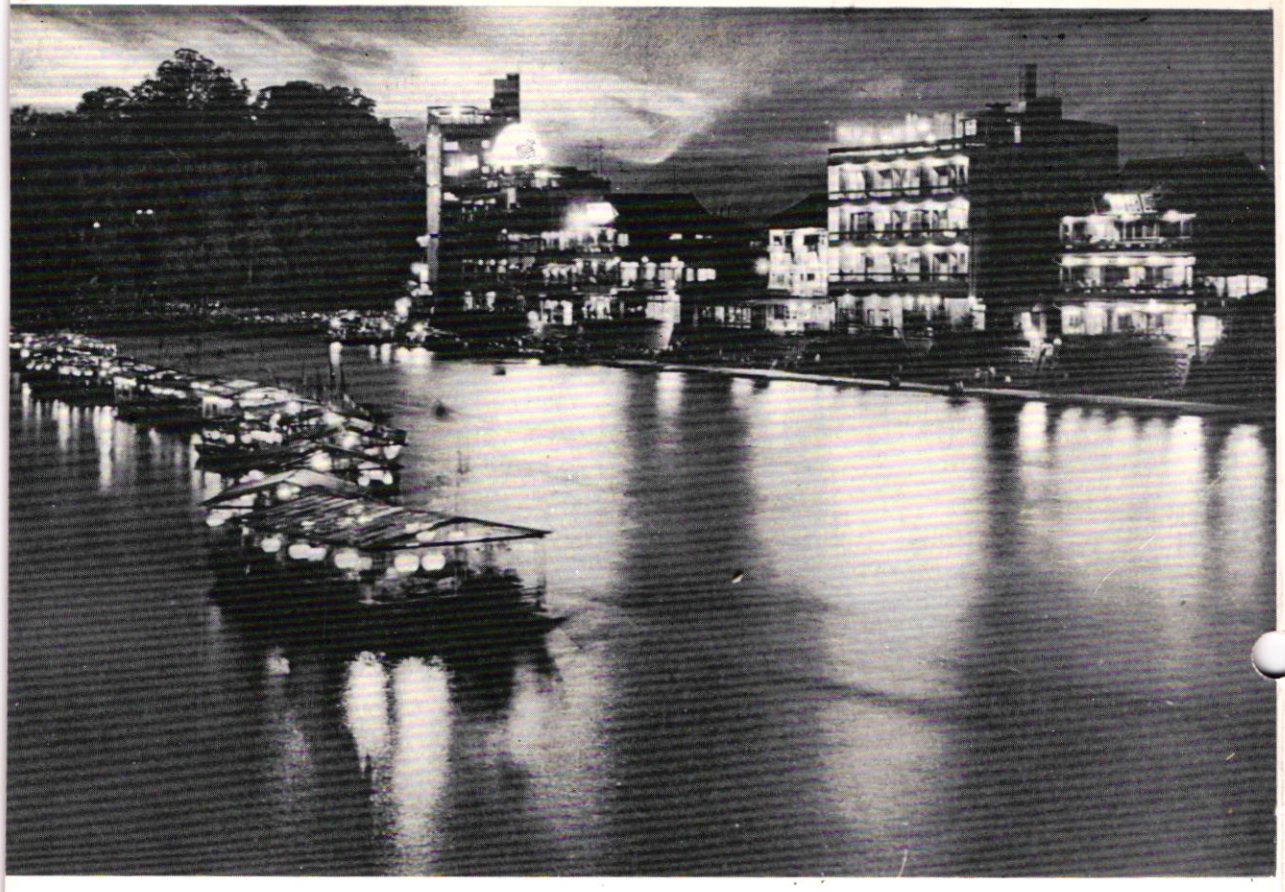


第21回 国体 秋季大会 バドミントン

10月24日⇨27日 ○日田林工高校

主　催　日本体育協会・文部省・大分県



大会歌

若い力

佐伯　孝夫作詞
高田　信一作曲

1

若い力と感激に　胸を張れ
燃えよ若人　ユニホーム
歓喜あふれる　花がちる
肩にひとひら　希望に満ちて
花も輝け　強き者
競え青春

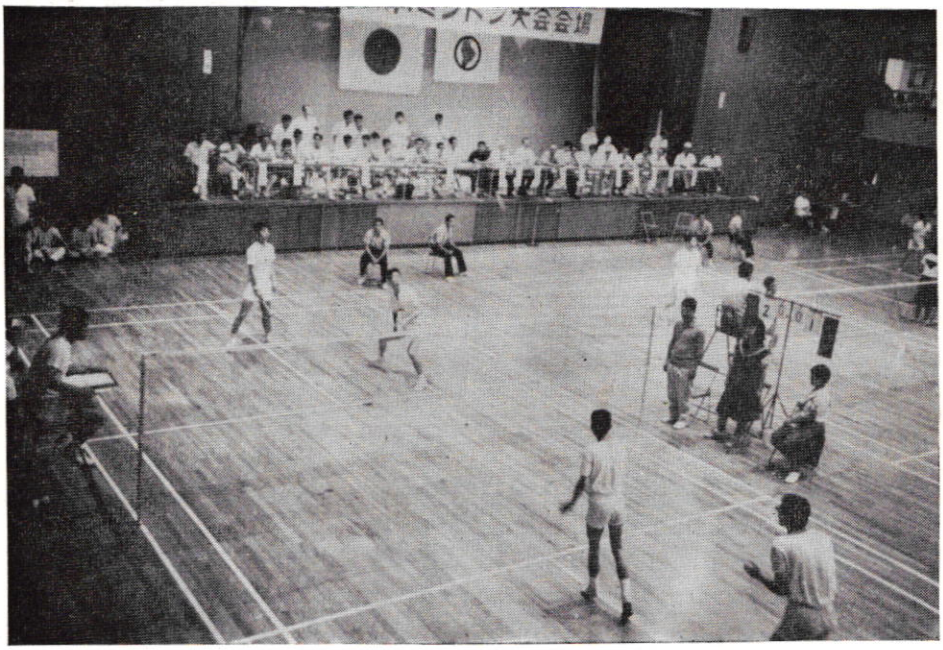
2

薫る英気と純情に　ｽﾎﾟｰﾂﾏﾝ
瞳明るい　君のもの
僕の喜び　虹が立つ
あがる凱歌に　熱こそ命
友情身に沁む　強き者
競え青春

第21回国民体育大会秋季大会バドミントン競技会

期　　日　　昭和41年10月24日～27日

場　　所　　大分県日田市丸山町
大分県立日田林工高等学校体育館



目　　次

「大分県民体育の歌」 …… 2
あ い さ つ …… 3
大会会長・文部大臣・大分県知事
日本バドミントン協会長・日田市長
大分県バドミントン協会長
天皇杯・皇后杯授与規程 …… 6
トロフィー授与規程 …… 7
スポーツマン綱領 …… 8
競 技 会 役 員 …… 9
競 技 役 員 …… 11
式次第・競技日程 …… 13
バドミントンの手引き …… 14
タイムテーブル …… 17
組 合 せ 表 …… 18
組 合 せ 表 …… 19
都道府県別参加人員表 …… 20
参加チーム一覧表 …… 21
競 技 記 録 …… 24
天皇杯・皇后杯得点表 …… 26
栄 光 の 跡 …… 28
バドミントン大会会場配置図 …… 34
バドミントン会場見取図 …… 35
宿 舎 案 内 図 …… 36
宿 舎 一 覧 表 …… 37
時　　刻　　表 …… 38
日田市実行委員会委員名簿 …… 39
日田市行幸啓事務本部機構 …… 39
日田市実行委員会事務局機構 …… 40

国体讃歌

大分県民体育の歌

当所寿人 作詞
滝本利一郎 作曲



一、二豊の空は紺碧に
今ぞ世紀の風を切る
さんたるひかりつらぬいて
おゝはつらつと県民の
力はあふれ花と咲く
いざ/\ふるえ青春の
讃歌高らにこだまして
スポーツ大分意気高し

二、おゝしく強くたくましく
通ういのちは火と燃えて
制覇を描く陸の上
栄冠めざす水の上
見よ紅の血はたぎる
（繰返し同じ）

三、仰げば遙か紫の
由布はさやかに匂いたつ
郷土のよぼう身におうて
練磨の技を今競う
あゝけんらんの大絵巻
（繰返し同じ）



あ　い　さ　つ

第２１回国民体育大会
会　長　石　井　光次郎

天皇陛下・皇后陛下の行幸啓を仰ぎ、第２１回国民体育大会秋季大会を本日から６日間大分県下５０余会場において開催されますことは誠に慶びに堪えません。

先のオリンピック東京大会は、国を挙げての協力により多大の成果を収め、世界各国から賞讃を博しましたが、明年はユニバーシアード東京大会の開催、また１９７２年のオリンピック冬季大会が札幌に決定し、国民全般のスポーツに対する関心が著しく深まり、若い世代の人々の間にスポーツが一段と普及浸透しつつあるとき本大会が開催されますことは極めて意義深いものがあると思います。

全国各地から参加された諸君には、この国民的スポーツ祭典である本大会においてその真価を遺憾なく発揮され、郷土の声援にりつぱにこたえられるよう念願してやみません。

終りに本大会を開催するため多大のご尽力とご協力を寄せられた地元大分県をはじめ、多くの関係者各位に心から感謝の意を表してあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

文部大臣　有　田　喜　一

天皇・皇后両陛下の御臨場をいただき、ここに第２１回国民体育大会秋季大会を大分県においてはなばなしく開催いたしますことは、私の深くよろこびとするところであります。

国民体育大会は、関係者のご努力により、ますます充実発展し、いまや我が国における最高のスポーツ祭典にふさわしい盛況を示し、健全明朗な社会と、たくましいわが国の発展に多大の貢献をしておりますことは、国民のひとしく認めるところであります。

郷土の名誉と期待をになって全国から参加された１万６千有余の選手諸君、どうか公正明朗なスポーツマン精神にのっとり、スポーツの栄光と本大会の輝かしい成功のために堂々と健闘されんことを希望して開会のごあいさつといたします。



あ　い　さ　つ

大分県知事　木　下　　郁

天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地からスポーツの精鋭一万五千有余を迎え、ここに第21回国民体育大会秋季大会を開催できますことは、120万大分県民にとつてこのうえもない光栄であり、喜びであります。

スポーツの普及振興により、健全明朗な国民生活の確立をめざす本大会は、回を重ねてますます充実して参つております。

大分国体は、新産業都市の建設、農林漁業の近代化など大躍進をとげつつあるわが県にふさわしい国体として、「剛健」「友愛」「信義」の旗じるしのもとに、「剛健国体」即「生産国体」の実現を基調として開催するものであり、県民あげてその成功のために努力して参りました。

この二豊の地に相集われた全国の選手・監督のみなさん、郷土の誇りとスポーツの栄光のため、日頃練磨された技と敢闘精神を遺憾なく発揮されて堂々の競技をくりひろげられることを念願するものであります。

さいごに、本大会開催のため絶大なご支援、ご協力を賜わりました役員をはじめ、関係者各位のご労苦に対して深く感謝申し上げて、あいさつといたします。



あ　い　さ　つ

日本バドミントン協会
会　長　本　田　弘　敏

天高く馬肥ゆる秋、こゝ九州日田市において第21回国民体育大会バドミントン競技大会を盛大に挙行することの出来ますことを心より喜びと致しております。

我が国バドミントン競技は協会設立以来二十年にして世界の一流に伍し、特に女子にあつては待望の世界制覇をなしとげ、四海に君臨するに至つた訳であり、同慶に堪えない次第であります。どうか全国各地より馳せ参じられた選手諸君、この期にあたり、一層の励みを以て、若人の意気高らかに、本大会をいやが上にも盛り立て郷土の名誉とアマチュア スポーツマンの栄光を輝かされるよう努力されることを切望致します。

最後に本大会開催にあたり筆舌に尽し難い努力を重ねて準備に当られました地元協会始め関係各位のご協力に対し心より感謝の誠をささげて会長挨拶と致します。



歓迎のことば

日田市長　岩尾精一

二豊の地に天皇・皇后両陛下のご台臨を仰いで、第21回国民体育大会秋季大会の各競技が大分県下各地で開催される中に、わが日田市で夏季大会の漕艇に続いてバドミントンと弓道の大会が開催されますことは、まことに光栄かつ感激に堪えないところであります。

全国の選手役員の皆さんよくこそお出で下さいました。私ども日田市民は心から歓迎申し上げる次第であります。

皆さんをお迎えする日田市は四囲の森林資源と、之と関連の木工業を主産業として躍進を目指しているのでありますが、そしてまた阿蘇外輪山と九住山とを源とする筑後川が、日田盆地を貫流して描く景観を誇る水郷日田でもありますが、共に皆さんを歓迎申し上げていることも心に留めていただきたいと思います。

今回のバドミントン大会の会場たるこの日田林工高校体育館の建設地は、旧幕時代に日田が幕府直轄の天領として、九州諸藩の監視的位置にあつた時の日田代官所の跡で、この体育館において現代的競技のバドミントン大会が開催されますことは、今昔の感更に切なるものがあります。

郷土の栄誉と期待を担つて出場されました選手の皆さん、日頃練磨された技倆を充分に発揮されて、栄誉を目指してのご奮闘の戦績を、この体育館に残していただきたいとお願い申し上げてご挨拶と致します。



あいさつ

大分県バドミントン協会
会　長　山下卓二

第21回国民体育大会のバドミントン競技を　当日田市において開催されますことはまことに感激深く慶びに堪えないところであります。

バドミントン競技が国体の競技種目として大会を開きましたのは昭和24年第4回の国体でありましたが、以来参加府県も年々増加し、技術の進歩と共に大会も盛大となつてきました。

本県のバドミントン競技は爾来極めて低調でありましたが、大分国体開催の決定以来諸先輩のご指導によつて急速の進歩を遂げて参りました。この点本県における国体の開催が契機となつたものと信じています。

今や日本のバドミントン競技は世界の舞台においてめざましい活躍を続けていますが本大会においても恐らく花々しい最高度のゲームが展開されるものと思うのであります

郷土の栄誉と期待を担つて出場されました各都道府県の選手各位は日頃練磨された技能を充分に発揮され、栄光をめざしてご奮闘あらんことを切望するものであります。

尚この大会を開催するに当りまして、日本バドミントン協会並びに大会関係者の方々より絶大なるご配慮と御協力を賜わりましたことを、本大会の主管協会として深く感謝の意を表しましてご挨拶と致します。



国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は、都道府県対抗男女総合順位１位の都道府県、皇后杯は女子総合順位１位の都道府県に授与する。

第２条　都道府県総合順位の決定は、冬・夏・秋季の三大会を通じ都道府県対抗競技種目に下記得点を与え、その合計点の多きものより順次とる。

１位10点、２位７点、３位６点、４位５点、５位４点、６位３点、７位２点、８位１点

ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位は欠位とする。なお、１位が共有の場合は天皇杯、皇后杯は授与しない。

第３条　各競技種目の順位決定は種別のあるものについては、各種別ごとに下記得点を与え、その合計点の多きものより順次とる。

１位10点、２位７点、３位６点、４位５点、５位４点、６位３点、７位２点、８位１点

ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位は欠位とする。

第４条　天候その他により一部競技が中止になつた競技種目の成績決定は、その競技団体と国民体育大会表彰委員会で決める。

第５条　天皇杯、皇后杯は冬季大会の開会式に返還し、秋季大会の閉会式に授与する。

第６条　天皇杯、皇后杯を授与された都道府県は下の各項により保管ならびにその義務を有する。

１、天皇杯、皇后杯は信託会社または確実な金庫に保管される。

２、破損、紛失に対してはその都道府県の責任とする。

３、日本体育協会が優勝都道府県名を刻入したり、またはその後の必要により一時返還を求めた場合はこれに応じなければならない。

付　則

本規程は、昭和41年４月１日より施行する。

国民体育大会会長トロフィー授与規程



第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は各競技種目ごとに都道府県対抗男女総合順位１位の都道府県に授与する。

第２条　順位の決定方法は、天皇杯・皇后杯の授与規程で定める各競技種目総合順位決定方法に基づく。

２，１位が２都道府県以上にまたがる場合はその都道府県で共有する。

第３条　大会会長トロフィーは各競技会の競技開始式に返還し終了式で授与する。

第４条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は下の各項により保管ならびにその義務を有する。

(1)　責任をもつて保管する。

(2)　破損、紛失に対しては責任を負うものとする。

(3)　優勝の刻名を次回大会までに行うものとする。

ただし第２条第２項にかかる場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合はこれに応じなければならない。

付　　則

本規程は、昭和41年4月1日から施行する。

スポーツマン綱領

（昭和28年10月スポーツ振興会議制定）

スポーツは人間だけがもつ文化の一つである。

これをより高く、より美しいものにするには、スポーツを行なうものの精神とそれをとりまく環境の清らかなことが必要である。美しいスポーツマンシップは、このような世界のなかで生れ、やがて生活を導く基として社会のために貢献するのであろう

故にスポーツマンは、競技場にあると同じ精神と態度で生活し、立派な社会人でなければならない。

ここに真のスポーツがあまねくゆきわたり、すべての人のものとして発展することを希い、スポーツマン綱領を定めた。

1, 競技するものは、スポーツを愛好し、ひいてはそれを心と身体の糧とし、明るい光とすがすがしい空気のなかで、純粋にスポーツを行うこと。

1, 競技するものは、スポーツを行なうことによって、社会的な名声や物質的な利益を得ようという考えをもたないこと。

1, 競技するものは、審判の判定を重んじ、その決定に満足しない場合でも感情に支配されぬ行動をとること。

1, 競技するものは、つねに明朗で、相手を尊重しつつ自分の最善をつくし、その成果に満足すること。

1, 競技を審判するものは、規則に従つて公正に判断し、競技を明るく滑らかに進めること。

1, 競技を見るものは、感情にとらわれた応援をせず、美しい精神とすぐれた技をたたえ、スポーツのよりよい発展を希うこと。

競　技　会　役　員

（順序不同、敬称略）

名誉会長　岩尾精一
会長　本田弘敏
副会長　村岡四郎　靱勉　上野吾介
顧問　石渡俊一　広瀬正雄　荒川九州男　角田賢三　田村光政　市川十郎　佐久間正夫　中村篤衛　矢部喜一　田崎忠　岡本善右衛門　天野辰雄　俊成薫　荒木実　谷口淳　佐藤界三　石松保　佐藤敏郎　樋口孫右衛門　梶原哲　河野治美　高瀬清　佐藤史郎　大蔵友三郎　石松直　渡辺種一　中島博誌　諫山家達　梶原敬侶　桜木保　森山円蔵　高山久吉　石井良太郎　富田新　広瀬厚
参与　広田兼敏　田中喜一郎　白山源三郎　穴井助三　石井正　地崎宇三郎　浅野喜代治　額賀修　和田吉弥　金森藤平　後藤鉀二　永末英一　田原又蔵　原立市　入交庄子　藤田義光　有銘興昭　平川昭二　安岡琢磨　後藤与吉　大谷弼　木藪順　重石房太　新田元周　清原夏男　高山英敏　中山寿　中川定　平島邦夫　後藤英彦　梶原虎太　瀬戸口定　樋口信　池田範六　原田喜八郎　石井等　池永行雄　松下正寿　山下卓二　松葉徳三郎　安心院保　山下広登　須郷佻太郎　小関三郎　日野貞夫　福田篤泰　宮下与吉　加藤義孝　石渡俊一　中村健　市河八五　藤井二男　鶴丸広長　瀬戸安武　有富素　穴井勲治　梶原徳市　武内正人　財津保　井上鉄次郎　小関弘文　合谷均　後藤隆　久恒正春　石井久雄　赤尾仁一郎　千原幸彦　奥森又男　長尾正　二串百治　光永礼　中島ミ子　坂本杉造　栗本義彦　中野勇　山田文雄　松尾勇　松橋藤吉　小島忠左衛門　小紫貢　朝倉良三　場原新十郎　九鬼紋七　川畑与兵衛　中尾喬一　鎌田道海　森俊雄　古木俊雄　武内梅蔵　後藤茂雄　千原小一郎　伊藤左門　黒木智　井上克已　斉藤哲生　財津徹　石松安次　坂本武信　後藤文太郎　藤原強　梶原寅次郎　池永哲三　戸山誠　平川澄雄　六角丸一　井上高明　森山利夫　伊東清重

委員長
副委員長
委員

繁　誓
人　彦
二美　生
男　俊
伊勢　子
正　二
純　妙
取　高

信	正	嵐	十五	志	那	博	正	田	原
郎	次	沢	伊	市	朗	男	一	川	井
志	清	利	毛	彦	邦	本	山	木	上
市	昇	端	川	一	栄	飼	小	林	小
禧	寿	島	中	二	敦	林	小	藤	加
彦	邦	本	山	二	益	井	増	藤	斉
充	弘	本	松	士	正	原	上	藤	健
郎	次	木	並	子	知美	木	鈴	藤	健
志	登	田	平	二	修	引	布	藤	健
博	正	田	内	子	美知	木	鈴	藤	健
房	隆	垣	板	正		坂	早	藤	健
一	昭	林	中	夫	保	田	増	藤	健
厳			関	郎	五小	多	内	藤	健
治	由	井	岩	晴	正	脇	宮	藤	健
雄	幸	原	石	雄	忠	光	倉	藤	健
勝		田	稲	志	泰	見	新	藤	健
市	寛	村	仲	荘		高	日	藤	健
男	一	原	川	光		上	井	藤	健
典	清	方	緒	郎	一	島	川	藤	健
郎太	剛	山	梅	元		山	弘	藤	健
男	一	部	安	義	和	井	芳	藤	健
喜	玉	井	穴	雄	高	木	黒	藤	健
龍	飛	野	日	人	清	本	坂	藤	健
澄	慧	沢	三	要		井	石	藤	健
生	長	木	臼	明		浜	中	藤	健
市	今朝	田	増	一	健	本	蔵	藤	健
平	皖	川	小	真		野	矢	藤	健
郎	八五	田	池	始		中	田	藤	健
見	五	田	其	男	次	田	矢羽	藤	健
子	恭	宮	一の	高	良	広	末	藤	健
彦	俊	藤	後	二	一	子	金	藤	健
生	見	子	妙	川			平	藤	健

和	進	下	丹	輝	金	貞	和	彦	藤
智	正	井	石	儀	田	異	和	彦	藤
生	見	川	石	敏	木	桜	和	彦	藤
豊	満	島	中	佐宇小	尚	友	和	彦	藤
洪		下	木		勲	美	和	彦	藤
夫	光	木	桜		山	兼	和	彦	藤
誠	信	木	桜		院	心	和	彦	藤
治	太	原	高		瀬	高	和	彦	藤
吉	彦	藤	後		桂	康	和	彦	藤
隆	彦	藤	後		恒	米	和	彦	藤
弘	隆	藤	後		恒	波	田	高	藤
雄	善	藤	後		恒	芳	田	福	藤
宣	博	田	後		則	岡	木	村	藤
熊		崎	後		彦	次	本	榎	藤
庸	司	竹	後		二	軍	田	千	藤
作	雄	田	後		嗣	闘	藤	後	藤
夫	雄	木	後		光	義	沢	関	藤
忠	雄	須田	後		夫	隆	木	佐々	藤
英	要	方	後		浩		秦		藤
夫	寿	木	後		幸	勝	橋	高	藤
雄	夫	橋	後		三	一	谷	神	藤
甫	雄	川	後		郎	荘三	中	田	藤
幸	重	山	後		満		合	河	藤
宏	一	場	後		正	一	田	塩	藤
治	正	倉	後		雄	正	山	亀	藤
淳	宏	宮	後		郎	智三	嶋	市	藤
清	一	場	後		一	修	田	吹	藤
吾	治	藤	後		一	信	元	秋	藤
長	猛	雄	後		雄	一	藤	長	藤
作	治	藤	後		雄	吉	宅	三	藤
徳兵	衛	友	森						

競　技　役　員

（順序不同、敬称略）

競技委員長	秋元信一			
競技副委員長	斉藤健太郎	三宅雄吉		
総務委員長	高倉正治			
総務副委員長	並木万治郎	富田新		
総務委員	梶原敬悟	佐藤吾作	梅山剛太郎	松本慎太郎
	角野正	異儀田満		
総合成績計算委員長	森友徳兵衛			
総合成績計算委員	緒方清典	丸林直治		
審判長	内藤安雄			
副審判長	佐甲勲	伊藤基記		
審判員	今井先	川端昇市	村山幸雄	小宮淳宏
	吹田修一	伊沢三郎	大森協一	家入明朗
	福田貢	松田勝男	森林勝見	高野末雄
	山田卓生	三原邦吾	増田勝次郎	後藤泰男
	淵上英紀	勝野雅文	佐藤福太	安部一男
	城戸博人	高木勝人	野原種明	三苫文博
	高瀬五男	小林和則	大村慎二	清水正敏
	池尻宏明	再東正哲	横尾糺士	井上賀薫
	平川敏	財津一之	足立元明	浜田義美
	衛藤和人	橘昭寿	小関公次	二ノ宮啓隆
	堀弘志			
線審員	高倉京子	長谷部秀子	日吉順子	中島孝子
	梅木いづみ	本河ひろ子	小野妙子	長岡真由美
	宮本芳子	相垣初美	松尾洋子	大蔵美代子
	藤原由美子	甲能邦子	吉田ツヤ子	矢幡佐代子
	高場栄子	千原喜美子	佐藤幸子	麻生きり江
	石井加代	田中恵津子	高倉恵美子	伊藤京子
	上杉陽子	赤尾秀子	赤尾幸子	田島スマ子
	岡田幸展	梶原利正	秋吉文男	梶原純二
	佐藤徳正	諫山洋	白水芳雄	小林延夫
	石井保治	岩里昭二三	江田安生	御沓久徳
	石田幸一	伊藤豊明	秋好健一	高森茂明
	江田隆光	一の宮祥司	高野秀夫	堀喜久男
	森裁美			
進行主任	伊藤集人			
進行係	森山容決	矢野友章	桑野昇	野上昭紀
	斉藤宗孝			
記録主任	後藤恒彦			
記録係	川原文男	木藪日出士	高瀬昇	岐部早成
	財津良吉	野村甚一	末次徳嘉	加納一
	高倉英次			
シャトル主任	河津信男			
シャトル係	加藤弘次郎			
掲示主任	平島政記			

掲示係	橋本成人	秋吉征人	梶原辰生	
点示係	棹　賢治	山本信子		
送信主任	川島一郎			
送信係	上原　茂			
報道主任	浜田喜一郎			
報道係	諫山昭介	相良一成	中畑正光	萩原繁人
会場主任	宮崎宣也			
会場係	月脚　俊	江藤健治	鈴木利貞	用松恒次
練習会場係	水月邦弘	佐藤半二	長沢義二郎	二宮五郎
	北川　登	小山朝雄		
放送主任	高倉忠義			
放送係	財津敬二郎	清水弘恵		

補助員	総務補助員	林工高生男子 5名
	進行補助員	林工高生男子 2名
	点示係補助員	林工高生 29名
		昭和女子校生 22名
	会場係補助員	林工高生 10名

式　次　第

開　始　式　（10月24日）

1. 開式通告
2. 選手入場
3. 開会宣言……大会委員長　森友徳兵衛
4. 「君が代」斉唱
5. 「若い力」斉唱
6. 会長挨拶　…日本バドミントン協会長　本田弘敏
7. 歓迎のことば……日田市長　岩尾精一
8. 歓迎のことば……大分県バドミントン協会長　山下卓二
9. 表彰
10. 選手退場
11. 閉式通告

終　了　式　（10月27日）

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. 会長挨拶……日本バドミントン協会長　本田弘敏
5. 歓送のことば……日田市長　岩尾精一
6. 歓送のことば……大分県バドミントン協会長　山下卓二
7. 閉会宣言……大会委員長　森友徳兵衛
8. 選手退場
9. 閉式通告

バドミントン競技諸会議会場日程表

会議名	月日	時間	場所	会議名	月日	時間	場所
理事会	10.21	19～21	市民会館別館会議室	公認審判資格審査委員会	10.23	18～	市民会館別館会議室
監督会議	10.22	10～11	〃	用具委員会	10.24	18～	〃
臨時総会	〃	11～13	〃	指導委員会	10.25	18～	〃
全国理事長会議	〃	18～	〃				

競　技　日　程

第1日目	（10月24日）	8.30	開始式
		10.00～17.30	一般男子　1～2回戦
			一般女子、高校男女、教員男子　1回戦
第2日目	（10月25日）	9.00～18.00	一般男子　2～3回戦
			一般女子、高校男女、教員男子　準々決勝
第3日目	（10月26日）	9.00～15.00	一般男子　準々決勝
			全種別　準決勝
第4日目	（10月27日）	9.00～13.00	全種別、3位決定戦及び決勝戦
		13.30	終了式

バドミントンの手引

其の昔、インド・ボンベイ州のプーナに発生した此のゲームは、其の発生地の名を取り「プーナ」と称された。「プーナ」は今を去る百余年前の1844年に英国に紹介され、漸次英国内に拡がり、1873年、最初のプーナ・クラブが創立されて間もなく、ビュフォード領主下、グロセスターシャイアー県のバドミントン村で村人達が盛んに、このゲームを行う様になって以来、「バドミントン」と呼ぶ様になった。

当時の規則は幼稚なものであったが、以後度々改正が加えられ、今日では国際バドミントン連盟の規則に従って世界各国のバドミントン・プレーヤーがゲームをしている。現在英本国は勿論、北欧諸国、カナダ、北米、南米、印度、マライ、タイ、及南洋諸国に於て行われている。

我国に於ては、大正13・4年、頃ＹＭＣＡに紹介されていたが余り関心はなく、横浜ＹＭＣＡが昭和10年正式にこの競技を取り入れて以来、研究普及が行なわれて来た。然し戦後其の発達普及の度は急速を極み、昭和21年、日本バドミントン協会が結成され、23年に日本体育協会に加盟27年にＩＢＦ（国際バドミントン連盟）の一員となり、今日に至り、その支部が出来る迄に発展したのである、また、一昨39年5月東京にて第6回世界男子選手権（トマス杯）大会が開催され、インターゾーン戦では、日本（アメリカ・ゾーン勝者）タイ（アジヤ・ゾーン勝者）デンマーク（ヨーロッパ・ゾーン勝者）マラヤ（濠亜ゾーン勝者）の4ケ国中、デンマークがインターゾーン勝者となり、選手権国インドネシヤとチャレンジ・ラウンドの結果、3度インドネシヤは選手国となった。

因みに現在のバドミントン人口は推定100万、その内日本バドミントン協会に選手登録がしてある者は約1万名である。

競技の見方　我が国に於て江戸時代の昔から行なわれている古い民族遊技として追羽根つきの様に一見やさしい競技の様に思われるバドミントンは、テニスの変化に富んでダイナミックな立体戦の特色と卓球のスピーディなゲームはこびを兼ねそなえた近代的なスポーツである。そして又細かい技術を基礎にしたスマートなプレーと同時に強力な体力を要求するゲームである。

繊細な技術と果敢な決断力を以って、あの早いシヤトル・コックの打合のうちに、如何にして相手の急所を攻めるか、更に如何にして相手の体力を消耗させるかが図られている。

中央において1.524 m に張られたネットを境として上から叩く攻撃手段としてのスマッシュ、高く送り返すハイ・クリヤ、ドリブンクリヤー特有のネット・プレー、急に落下するドロップ、ショット、スピーディに烈しく打合うドライブ、又は相手に自分のモーションを穏すフェイントモーション等独特の面白さがある

バドミントンは繊細な技術を必要とするこの競技の性質上、選手はコートのコンディションについても、とても細かい心づかいをする。コート内の風や周囲の動きや、雑音など極度にいやがるので観客は、例えば試合中の競技場くの出入りやコーの周囲を動き廻ったり、たとえ短かい言葉でも声援しない様出来るだけ静かに観戦してもらいたい。そのかわり見事なファイン・プレーに対しては、相手味方を問わず万雷の拍手を以って応える様にしたい。

競技規則（抜萃）　ゲームはダブルスとシングルスの二種類があり、男、女、によつて種別が異るが、共に1試合3ゲーム、1ゲームは15点（女子シングルスのみ11点）であり、15点先取した方がゲームに勝となり、2ゲーム先に取った方がその試合の勝者となる。得点はサーブした方が勝った場合のみ得点となり、レシーブした方が勝っても得点とならずサーブする権利を得るのみである。

シングルスでは交互に勝っていればお互に得点とならずサーブを交互に行うことが長く続く場合もあるわけである。しかしダブルスでは1組2人が夫々サーブすることが出きるので二人のサーブに勝たなければサーブは片方に移らない。尚得点に於て13オール、14オー

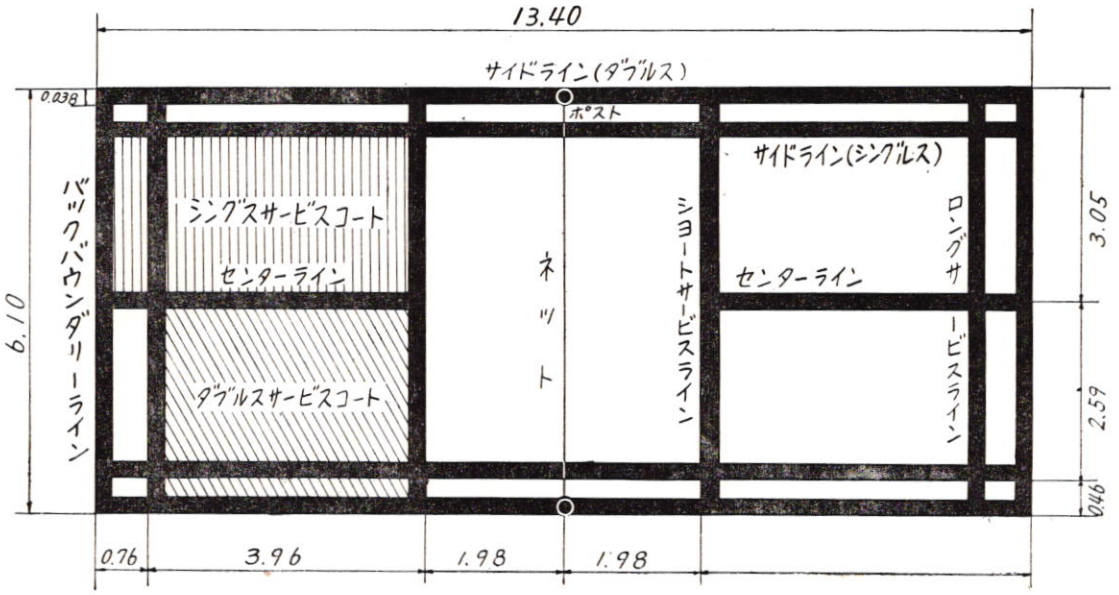
ルになった時は先に13点、14点取っていた方が夫々5点3点のゲームとするかを決定することが出来る。これをセッティングと云って、要求しないで15点までそのまま進めてもよい。女子のシングルスは11点ゲームなので9点オール、10点オールになった場合同様に夫々3点、2点の長延ゲームをすることが出来る。

次に如何なる場合がフォルト（反則）になるかと云うと、

1 サーブ又はレシーブの時ラインを踏んだりまたいだ時。
2 サーブの時シヤトルがサーバーの腰骨より高い所で打たれた場合。又ラケツトの先が手よりも上に出た場合。
3 サービスが相手のサービスコートに入らなかった場合。
4 サーブの時又はレシーブの時、かまえた足が床面から動いたり浮き上った場合（かかとの上るのはかまわない）
5 シヤトルが相手コートに入らなかった場合、但し、相手が打てば入ったものと見做される。
6 ラケットや身体の一部が、相手コートに侵入したりネットに触れた場合。
7 シヤトルが同一プレーヤによって連続2回以上打たれたり、1人のプレーヤとのパートナーによつて続けて打たれた時。
8 シヤトルがプレーヤの身体に触れた場合。
9 プレーヤーが相手を妨害した場合。

結び バドミントンは近時特にスポーツとして、又、リクリエーションとして老若男女を問わず益々盛んとなり、屋内の体育館だけに留まらず、ビルの屋上や公園空地などで愛好されている。しかし交通のはげしい道路上で行なうことだけは危険であり、交通道徳の面からも是非禁止されねばならない。

誰にでも手軽に出来る運動であり、今後より以上の普及発展が予想されることだろう。



MEMO

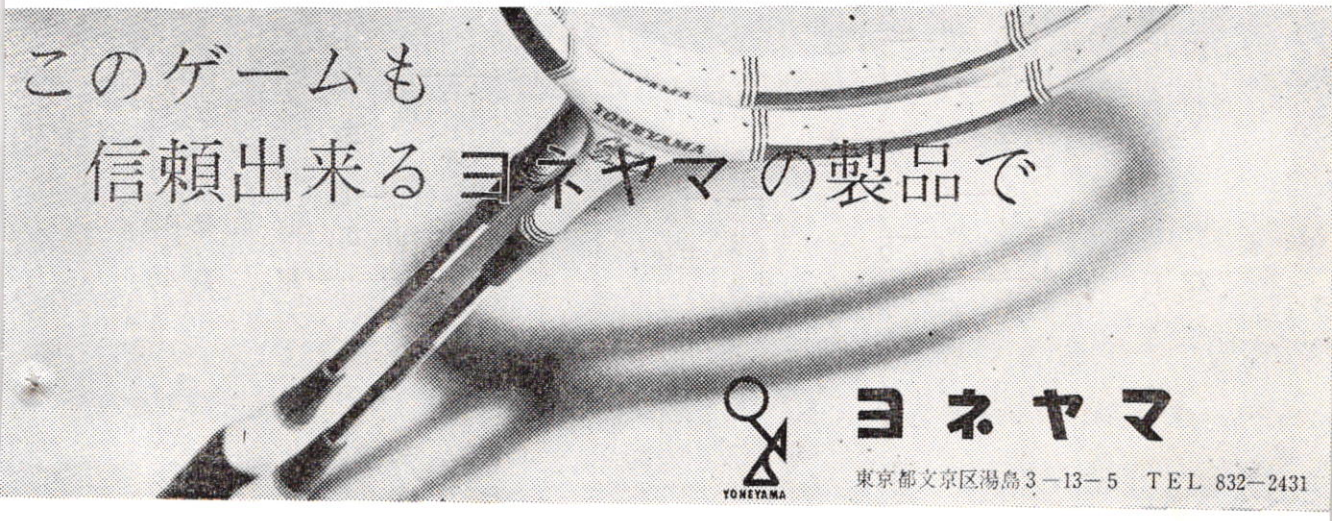
競技順序及び時間　（タイムテーブル）

日	時間＼コート	1	2	3	4	5	6
第一日（10月24日）	10：00	M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6
	11：30	M 7	M 8	M 9	M 10	M 11	M 12
	13：00	M 13	M 14	G 1	G 2	L 1	L 2
	14：30	B 1	B 2	T 1	T 2	M 15	M 16
	16：00	M 17	M 18	M 19	M 20	M 21	M 22
第二日（10月25日）	9：00	M 23	M 24	M 25	M 26	M 27	M 28
	10：30	M 29	M 30	G 3	G 4	L 3	L 4
	12：00	B 3	B 4	G 5	G 6	L 5	L 6
	13：30	B 5	B 6	T 3	T 4	T 5	T 6
	15：00	M 31	M 32	M 33	M 34	M 35	M 36
	16：30	M 37	M 38				
第三日（10月26日）	9：00		M 39		M 40	M 41	M 42
	10：30		G 7		G 8	L 7	L 8
	12：00		B 7		B 8	T 7	T 8
	13：30				M 43		M 44
第四日（10月27日）	9：00	L 9	M 45		G 9	T 9	B 9
	11：00	L 10	M 46		G 10	T 10	B 10

記号説明　（M一般男子、L一般女子、T教員男子、B高校男子、G高校女子）

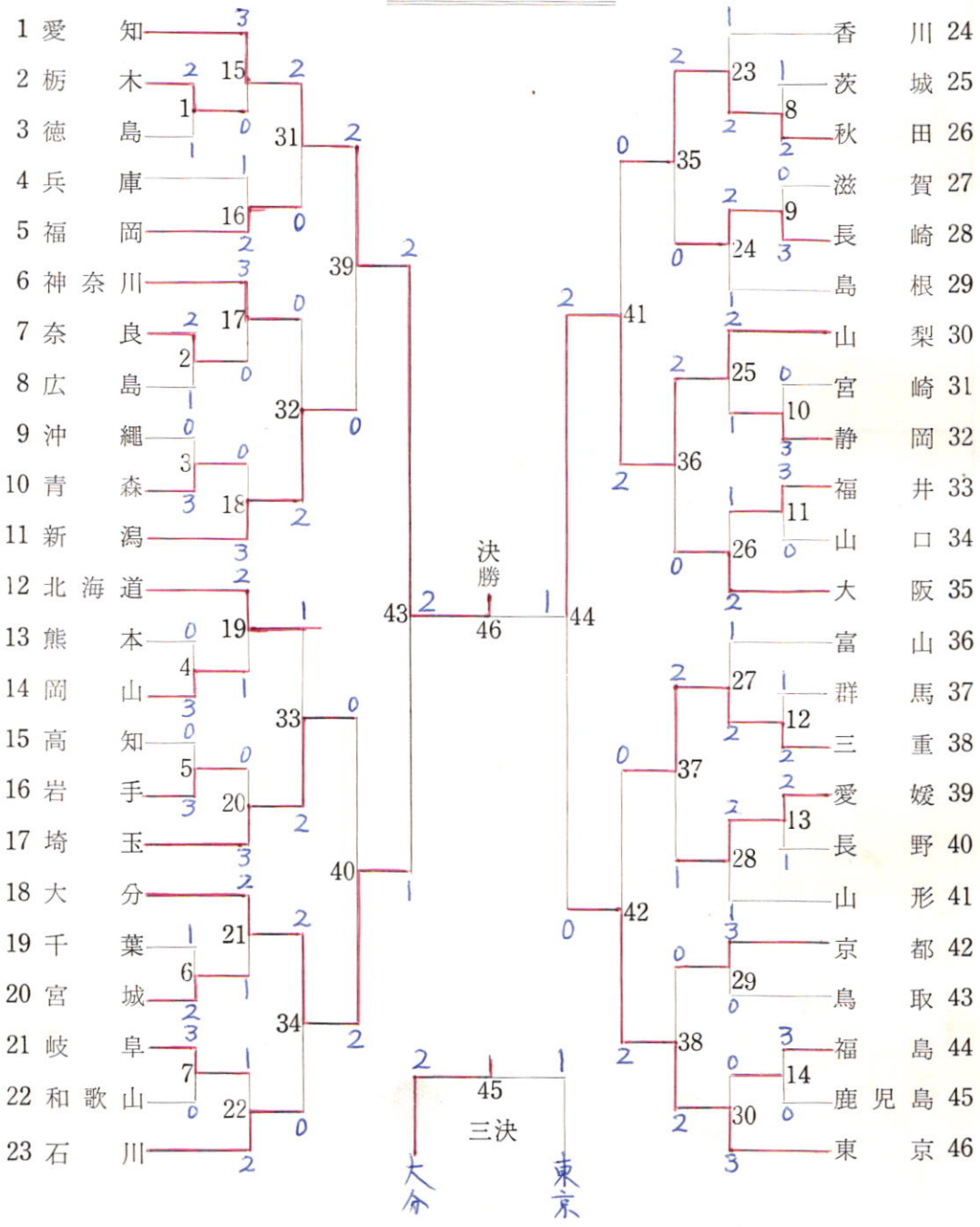
註　1．定刻よりおくれた場合は棄権とみなす。

2．コートおよび時間は都合により変更することがある。



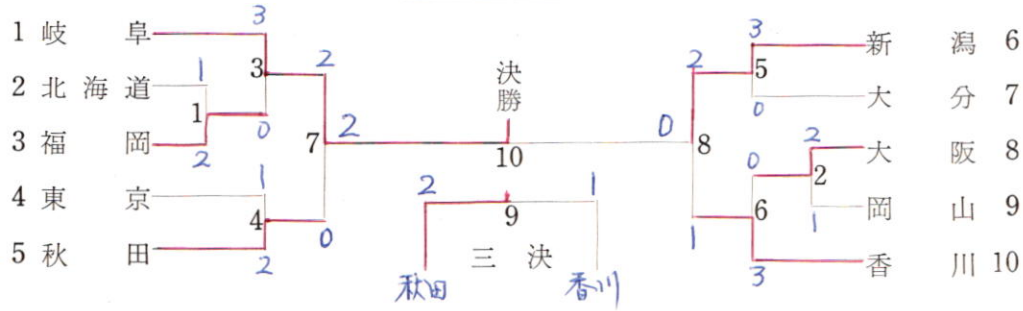
組　合　せ

一　般　男　子

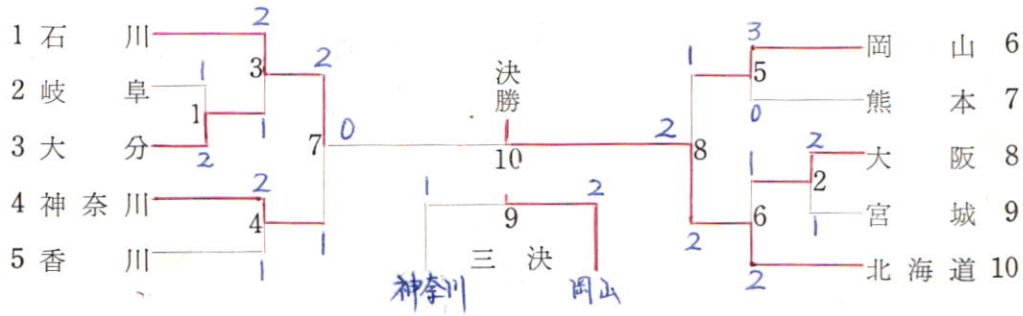

1 愛　知
2 栃　木
3 徳　島
4 兵　庫
5 福　岡
6 神奈川
7 奈　良
8 広　島
9 沖　縄
10 青　森
11 新　潟
12 北海道
13 熊　本
14 岡　山
15 高　知
16 岩　手
17 埼　玉
18 大　分
19 千　葉
20 宮　城
21 岐　阜
22 和歌山
23 石　川
24 香　川
25 茨　城
26 秋　田
27 滋　賀
28 長　崎
29 島　根
30 山　梨
31 宮　崎
32 静　岡
33 福　井
34 山　口
35 大　阪
36 富　山
37 群　馬
38 三　重
39 愛　媛
40 長　野
41 山　形
42 京　都
43 鳥　取
44 福　島
45 鹿児島
46 東　京
決勝
三決
大分
東京

組　合　せ

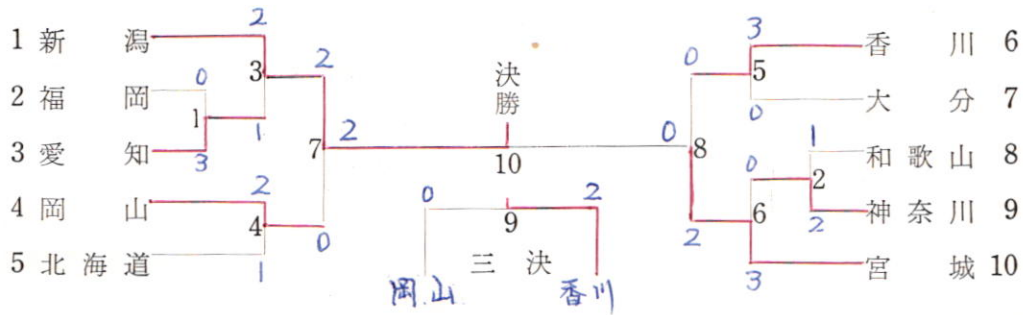
一般女子



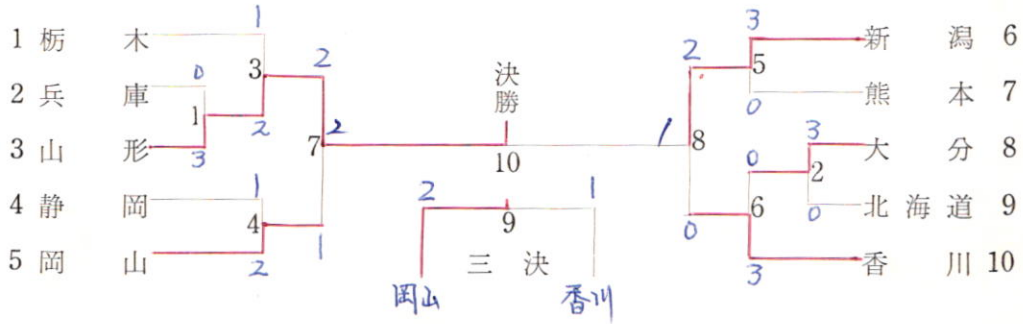
教員男子



高校男子



高校女子



都道府県別参加人員表

ブロック	県名	監督	一般男子	一般女子	数員男子	高校男子	高校女子	計
北海道	北海道	5	3	3	3	3	3	20
東北ブロック	青森	1	3					4
	岩手	1	3					4
	宮城	3	3		3	3		12
	秋田	2	3	3				8
	山形	2	3				3	8
	福島	1	3					4
関東ブロック	茨城	1	3					4
	栃木	2	3				3	8
	群馬	1	3					4
	埼玉	1	3					4
	千葉	1	3					4
	東京	2	3	3				8
	神奈川	3	3		3	3		12
	山梨	1	3					4
北信越ブロック	新潟	4	3	3		3	3	16
	長野	1	3					4
	富山	1	3					4
	石川	2	3		3			8
	福井	1	3					4
東海ブロック	静岡	2	3				3	8
	愛知	2	3			3		8
	三重	1	3					4
	岐阜	3	3	3	3			12

ブロック	県名	監督	一般男子	一般女子	数員男子	高校男子	高校女子	計
近畿ブロック	滋賀	1	3					4
	京都	1	3					4
	大阪	3	3	3	3			12
	兵庫	2	3				3	8
	奈良	1	3					4
	和歌山	2	3			3		8
中国ブロック	鳥取	1	3					4
	島根	1	3					4
	岡山	5	3	3	3	3	3	20
	広島	1	3					4
	山口	1	3					4
四国ブロック	香川	5	3	3	3	3	3	20
	徳島	1	3					4
	愛媛	1	3					4
	高知	1	3					4
九州ブロック	福岡	3	3	3		3		12
	長崎	1	3					4
	熊本	3	3		3		3	12
	宮崎	1	3					4
	鹿児島	1	3					4
沖縄	沖縄	1	3					4
開催地	大分	5	3	3	3	3	3	20

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
北海道	督手 一徳郎光 監選 〃 栄智昭富 〃 飼島崎村 〃 小福岩中	督手 寛子 監選 〃 平沢田地 〃 村泰由美子 〃 福菊義子	督手 善良彦夫 監選 〃 五十嵐 〃 杉田達山 〃 安上茂惟功	督手 二光治広 監選 〃 賢徳秀真 〃 川村田岡 〃 赤中多	督手 之子 監選 〃 舩敏子 〃 奥水嵐まり 〃 山清十藤
青森	督手 清郎雄悦 監選 〃 元五達勇 〃 川田取浦 〃 市和白三			遠藤雅行	
岩手	督手 天雄好郎 監選 〃 宣国三 〃 高橋沢川多 〃 白及本				
宮城	督手 稔允千夫 監選 〃 祥策明 〃 島橋野森 〃 寺高植		督手 誠一夫昇 監選 〃 伊渡部加佐 〃 藤和茂々木	督手 雄貞郎清 監選 〃 高我市寒 〃 橋妻川河 〃 貞一利江一	
秋田	督手 裕勝郎蔵 監選 〃 正二礼 〃 松川稲根 〃 橋辺葉津 順谷	督手 清一子 監選 〃 相横高加 〃 場山橋賀 〃 満奉ユミ子			
山形	督手 弘房孝一 監選 〃 義隆 〃 金板荒沼 〃 森垣井沢 利				督手 正子 監選 〃 菅小遠伊 〃 野山藤藤 悦茂幹シゲ子
福島	督手 二博朗雄 監選 〃 修和辰 〃 引須木田 〃 藤村沢				
茨城	督手 光勝博志 監選 〃 義正 〃 関菅早福 〃 沢野川田 喜代				
栃木	督手 充一己満 監選 〃 弘利雅 〃 本田山山 〃 松森遠霜				督手 男子 監選 〃 井遠 稔節 〃 田太 啓久子 〃 田吉 杉沖子
群馬	督手 夫豊治夫 監選 〃 育 〃 西稲村井 〃 巻村上 英	浅野佐夫			
埼玉	督手 司至男明 監選 〃 武 〃 富神中 〃 山 谷 久広				
千葉	督手 夫之彦春 監選 〃 重和暢幸 〃 高周清鈴 〃 橋東水木				
東京	督手 康一六彦 監選 〃 正栄十勝 〃 福堺田轟 〃 井上	監督 明子江枝 村ヒミ 組木ヤヨ 淑光 有功刀月 望		遠藤洛治	
神奈川	督手 治一彦之 監選 〃 啓悠洋勝 〃 遠吉山 〃 藤良本鈴		督手 武博 監選 〃 牧杉岡富 野田田 敬三郎	督手 男進 監選 〃 三武間後 見岡辺藤 正秀安敏 之夫昭	
山梨	督手 男三男勇 監選 〃 真恵真 〃 藤崎山上 〃 遠岡秋三			永井司	
新潟	督手 郎孚夫一 監選 〃 貞紘 〃 嶋部島竹 〃 市阿福大 智	督手 和子子操 監選 〃 川藤崎藤 〃 宮後石加 忠和妙		督手 薫 監選 〃 風間本間高橋奥田 次宣秋 順 良	督手 佳 監選 〃 部間下坂 一美恵悦薫 〃 阿本日高 子子

島中夏夫 24日の午後変更

大田 左 24日の午後変更

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
長野	監督 悟 選手 夫 〃 沢 臣 〃 出木 康之 〃 小唐 藤尚 一 〃 伊中 山博 郎				
富山	監督 小 選手 多 洋 〃 内上 原昌 一 〃 川永 野博 雄 〃 盛 之				
石川	監督 林 選手 増田 博 〃 沢村 力 〃 奥中 田明 義 〃 加藤 吉		啓夫 寿匡 晴一 山栄 島原 中方 河北 監督 原 選手		
福井	監督 久 選手 大次 〃 梶和 雄 〃 寺将 人 〃 出由 一 〃 井憲 雄 〃 笠孝 弘 〃 平敏				
静岡	監督 日 選手 伊藤 一 〃 小宮 雄 〃 垣憲 司 〃 板沢 之 〃 安武 修	中田 長谷川 敏彦		勝野 克 中野 正 村井 博 谷知 峰 浅水 監督 亮 選手	裕代 忠三 敏れ 松木 下岡 植鈴 森風 監督 選手
愛知	監督 鉱 選手 好 〃 善 〃 竹 健 〃 輪山 宏 〃 大原 章 〃 三杉 二 〃 上 孝		旭 美 裕治 浦田 直 井藤 宏 三和 国尾 監督		
岐阜	監督 千 選手 吉 隆 〃 伊村 宏 〃 小林 一 〃 田 寿 〃 寺村 三 〃 河川 平 〃 西木 男 〃 高 夫	井 宗 木 子 野 江 田 子 五 完 高 紀 天 博 高 康 監督 選手	夫 郎 明邦 敏 四 輝忠 来野 岡田 宝北 片杉 監督 選手		
三重	監督 芥 選手 川 一 〃 床尾 次 〃 岸本 麻 〃 高木 美 〃 池田 正 〃 高野 彰 〃 中川 之 〃 加藤 一	木 二 藤 枝 脇 子 才 昭 谷 光 富 妙 青 美 近 谷 監督 選手			
滋賀	監督 晃 選手 金 〃 芳 一 〃 十 雄 〃 五 二 〃 安 一 〃 山 一 〃 藤本 雄 〃 近 勇				
京都	監督 勝 選手 弥 〃 利 幸 〃 元 之 〃 矩 一 〃 寿 雄 〃 保 勇 〃 谷 夫 〃 野 幸				
大阪	監督 寒 選手 市 〃 修 一 〃 嗣 男 〃 年 政 〃 義 譲 〃 木 匠 〃 井 敏 〃 山 男			監督 正 選手 林 勇 〃 山口 味 〃 植西 芳 〃 中 詳	
兵庫	監督 花 選手 佐 忠 〃 浅 泰 〃 横 益 〃 岩 吉 〃 星 敏 〃 日 男 〃 松 三				
奈良					
和歌山					
鳥取					
島根					

参加チーム一覧表

県名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
岡山	督手 明貴 〃 正明 〃 重雄	督手 郎子 〃 史枝子 〃 佳子	督手 美 〃 弘勝志敏 〃 清亮	督手 一 〃 福男弘吉 〃 充雄	督手 周之江子 〃 博恵民
広島	督手 市 〃 郎一昭 〃 晃角太健良	督手 月 〃 大合 〃 小政賀 〃 重大	督手 辺 〃 渡宅利本 〃 三毛柳	督手 木 〃 三上峪水 〃 芳小清	督手 上木口藤 〃 山湯浦佐
山口	督手 幸 〃 一夫夫 〃 哲恵忠好				
香川	督手 村 〃 上添川 〃 河石	督手 作子子 〃 正文和合 〃 馬井藤辺百 〃 有横加渡	督手 川 〃 泉森藤高 〃	督手 下 〃 地西小 〃	督手 雄子子子 〃 山井部片 〃 穐土岡小
徳島	督手 志 〃 泰正栄嘉 〃		督手 輝示文雄 〃 嘉桂和信 〃	督手 文 〃 義和健忠 〃	督手 正治サ恵 〃 フ千
愛媛	督手 章雄利夫 〃 則鎮勝純				
高知	督手 彦幸男章 〃 邦忠英知				
福岡	督手 寿 〃 晴一博 〃 国精邦昭	督手 紀子子子 〃 英典栄合 〃 上水崎井百 〃 玉松筒		督手 美 〃 武寛充美 〃 久素博 〃	
長崎	督手 夫 〃 郎臣弘 〃 一国敏 〃 征士清孝				
熊本	督手 雄 〃 介一直 〃 富口		督手 本 〃 俊郷田明 〃 節山生治 〃 直田元 〃 寿之一三		督手 信 〃 美夜子子 〃 保倫な 〃 内野渡つ 〃 猿松
大分	督手 彦 〃 一優美子子 〃 ヨ淑	督手 彦 〃 一優美子子 〃 ヨ淑	督手 山 〃 弘吉藤原 〃 宮佐宮	督手 一 〃 喜雄秀介 〃 昭直啓 〃	督手 之子江子 〃 田夜住サ 〃 池原フ 〃 蒲梶萩
宮崎	督手 郎 〃 司也一 〃 太武大俊	督手 重 〃 森永坂立		督手 藤 〃 工倉田原 〃 石原梶	
鹿児島	督手 壮 〃 弘国雄 〃 行博文				
沖縄	督手 照 〃 滋文男 〃 博保				
	督手 良 〃 春文光 〃				

競　技　記　録

種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )
種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )
種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )

競　技　記　録

種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			(　)(　)			
	選　手　名					選　手　名
複			(　)(　)			
1単			(　)(　)			
2単			(　)(　)			
種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			(　)(　)			
	選　手　名					選　手　名
複			(　)(　)			
1単			(　)(　)			
2単			(　)(　)			
種別及試合番号			試合時間	自　時　分 至　時　分	審判氏名	
	県　名					県　名
			(　)(　)			
	選　手　名					選　手　名
複			(　)(　)			
1単			(　)(　)			
2単			(　)(　)			

天皇杯・皇后杯得点表

種別 / 都道府県名	天皇杯							皇后杯			
	一般男子	一般女子	高校男子	高校女子	教員男子	合計	順位	一般女子	高校女子	合計	順位
北海道											
青森											
岩手											
宮城											
秋田											
山形											
福島											
茨城											
栃木											
群馬											
埼玉											
千葉											
東京											
神奈川											
山梨											
新潟											
長野											
富山											
石川											
福井											
静岡											
愛知											
三重											
岐阜											
滋賀											
京都											
大阪											
兵庫											
奈良											
和歌山											

競　技　記　録

種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )
種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )
種別及 試合番号			試合 時間	自　時　分 至　時　分	審判 氏名	
	県　名					県　名
			( )			( )
	選　手　名					選　手　名
複			( )			( )
1単			( )			( )
2単			( )			( )

天皇杯・皇后杯得点表

種別 / 都道府県名	天皇杯 一般男子	天皇杯 一般女子	天皇杯 高校男子	天皇杯 高校女子	天皇杯 教員男子	天皇杯 合計	天皇杯 順位	皇后杯 一般女子	皇后杯 高校女子	皇后杯 合計	皇后杯 順位
北海道											
青森											
岩手											
宮城											
秋田											
山形											
福島											
茨城											
栃木											
群馬											
埼玉											
千葉											
東京											
神奈川											
山梨											
新潟											
長野											
富山											
石川											
福井											
静岡											
愛知											
三重											
岐阜											
滋賀											
京都											
大阪											
兵庫											
奈良											
和歌山											

種別 / 都道府県名	天皇杯							皇后杯			
	一般男子	一般女子	高校男子	高校女子	教員男子	合計	順位	一般女子	高校女子	合計	順位
鳥取											
島根											
岡山											
広島											
山口											
香川											
徳島											
愛媛											
高知											
福岡											
長崎											
熊本											
宮崎											
鹿児島											
沖縄											
大分											

MEMO

栄　光　の　跡

第4回　昭和24年 東京 YMCA（個人戦オープン）

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀・藤井光男	神奈川　岡淳一・相馬万吉	北海道　佐藤保・村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子・遠藤文子	小林歌子・中村たき	愛知　吉沢千里・後藤範子

第5回　昭和25年 愛知県 栄小学校、東桜小学校、白鷗小学校

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子	東京　広田敏秀・藤井光男・小山康久	神奈川　岡淳一・相馬万吉・松本武道	北海道　佐藤保・村上三英・葛西俊守
一般女子	神奈川　吉田とよ子・遠藤文子・小林歌子	愛知　水谷鈴子・堀江綾子・保田久照子・伊与田子子	北海道　伊藤絹代・安藤栄子・佐賀岡信子
高校男子	北海道　石田裕二・神山周一・大塚健夫・島中貞一	愛知　川辺光男・石渡成雄・大野竹口健司	神奈川　岡村道明・江藤弘喬・井井昂実一

総合優勝　神奈川県

第6回　昭和26年 広島県 広大東雲分校、同附属小学校

	(一位)	(二位)	(三位)
一般男子	東京　広田敏秀・岡道明・山田康久	岐阜　玉越忠治・大竹健司・大野和彦	愛知　藤井光男・辺成和・渡蟹男
一般女子	愛知　堀江綾子・保田久照子・伊与田子	石川　登貝原悦子・高田ま八さえ重子	北海道　伊藤絹代・片岡京子・栗原澄子
高校男子	愛知　服部安治・野口勇一・之松健一	石川　東直夫・西正貞一・諸江秀	岐阜　後藤八郎・林中裕太郎・田金正則

総合優勝　愛知県

第7回　昭和27年 宮崎県 東北大学体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
神奈川	広田 秀明 岡井 敏一雄 藤原 道昂 吉原 秀	北海道 石田山 裕二 神西坂 周俊郎 葛野 英豊三	東京 井宮崎 実 江小山 敏 佐藤 章茂朗
一般女子			
石川	貝塚 さえ子 登田倉 ま悦子 高倉 八重子 米 衣 絵	東京 田中谷 江子 中瀬寺 知子 佐野 成子 小 教 子	愛知 堀江田 綾子 保田野 久子 伊根 照子 水 美
高校男子			
東京	望月 文一 倉田木 隆 力石 雄 鈴 彦	神奈川 新倉 和 関根 英 内藤 弾 伏島 光	石川 諸江 秀 井上本 晴 山田 圭 上 一夫三
高校女子			
兵庫	広瀬 延 西尾原 貞 小笠 美 関 津	山形 佐藤 照 十藤 弘 五嵐 久 斉藤 美	神奈川 大川野 子 竜野田 代 藤島 良 中 光

総合優勝　神奈川県

第8回　昭和28年 香川県 善通寺体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
神奈川	広田 秀 佐治 敏 川崎 順 杉田 博	東京 藤井 男 諸江川 光 相原 秀 萩 誠	岐阜 大竹 司 松岡 健 丹羽 亀 林 哲
一般女子			
神奈川	遠藤 文子 小林 歌 荒川 と 小野 智	北海道 岡元津 弘子 柏部井 貴江 阿荒 悦重	石川 貝原 さえ子 登谷 ま子 島駒 悦子 町 須
高校男子			
北海道	片石藤 兼敏 加藤川 方則 長谷桁 竜男 井 啓 充	石川 江尻外 三 辻半崎 桂 岡田 直 岡 健	神奈川 越川岡 啓 花井藤 夫 折内 牧彦 利 弘
高校女子			
宮城	西堀津 富美子 谷藤 京子 佐藤 範 松本 幸	香川 大秋 誉 秋山 武 真鍋 久	神奈川 大川田野 子 藤野 良 竜多 光 波 澄

総合優勝　神奈川県

第9回　昭和29年 北海道 札　幌　市

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
岐阜	玉越 治 大竹 忠 松岡 健 竜 司三	愛知 野口部 勇 服部 治 稲熊 与 貞 夫	富山 水谷木 正 清 一男 釣 友 荒 亥久
一般女子			
宮城	西堀 富 佐藤津 美 谷 範 京 子	石川 登原 悦 貝谷 ま 渋 さ 信 子	愛知 田田江 久子 保照綾 子 伊与 子 堀 子
高校男子			
愛知	豊場 健 御反 正 伊藤 広 雅 昭	石川 西村 嘉 江尻谷 桂 島 信 三昇	神奈川 富沢内 一 伊豆辺 宏 渡 健 潔
高校女子			
福島	武田 信 伊藤 桂 尾形 亨 子	岡山 大森 美 友野 嘉 三宅 文 基	愛知 大沢 子 大室 範 大 美 大 久 泰 子

総合優勝　愛知県

第10回　昭和30年 神奈川県体育館、鶴見高女体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	神奈川 広田敏秀 / 杉田博道 / 岡明	岐阜 大竹健司 / 松岡竜三 / 酒井弘	富山 釣谷一男 / 荒木友久 / 高木亥満
一般女子			
	福島 武田信子 / 伊藏桂子	神奈川 荒川みと子 / 小林歌子 / 大川良子	北海道 梅津貴久仁子 / 阿部悦重子 / 下山仁子
高校男子			
	東京 永井栄一 / 北島勝英一 / 小野岡順	石川 北方匡功 / 関谷外喜彦 / 米	山形 生田仁紀房 / 板垣隆至 / 羽角
高校女子			
	岡山 友野文子 / 権田節子子 / 三宅基子	宮城 佐々木功子 / 三浦井静子 / 管	香川 永田豊子代子 / 藤田村紙怜 / 藤

総合優勝　神奈川県

第11回　昭和31年 兵庫県 神戸YMCA、生田中学

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	神奈川 杉田博 / 佐藤芳朗 / 佐藤昌久	大阪 上田木益弘 / 増村節男 / 武 俊平	岡山 毛利清志 / 前田原俊一 / 石 利道
一般女子			
	宮城 西堀貴美子 / 小野寺静江子 / 佐藤範子	岡山 友野文子子 / 権田本政子 / 光 子	兵庫 西尾貞子子 / 加藤洋子子 / 金森奎子
高校男子			
	神奈川 小宮好雄 / 中村智之 / 斉藤裕	北海道 柳邦夫 / 四ツ桐本正徳 / 岩 竜一	山形 板垣隆房 / 山岸重勝志 / 麺水
高校女子			
	香川 横井キヌ子子 / 井上桂子子 / 山下衣子	岡山 小林桂子子 / 戸田寿子絢 / 根岸	宮城 三浦節子 / 沼倉英志 / 三 与

総合優勝　岡山県

第12回　昭和32年 静岡県 富士宮体育館、富士高講堂

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	神奈川 佐藤芳朗 / 杉田博男 / 新倉和	東京 月石文雄 / 望力木潔三 / 鈴 俊	北海道 島中野良夫 / 星山嘉隆 / 神 修爾
一般女子			
	香川 横井キヌエ子 / 井上桂子子 / 山下衣子	岡山 権田節子子 / 光田政子 / 小林桂子	神奈川 大川良子子 / 小石歌子 / 石 英
高校男子			
	神奈川 小宮好雄 / 中村智勝 / 鈴木敏	石川 酒井明夫 / 村田和男 / 堀 知章	島根 平野隆 / 森脇英祐 / 富田豊
高校女子			
	香川 田島外茂子 / 山下久子子 / 宮川ツヤ子	静岡 掛橋良子子 / 西村弘子 / 佐野禎子	石川 有田順子子 / 長田悠喜美子 / 松田富子

総合優勝　神奈川県

第13回　昭和33年 富山県 高岡女高体育館、南星中体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	東京 片越 石川 兼牧 敏啓夫	神奈川 杉佐 田藤 博朗 芳昌 久	大阪 高上 谷田 弘志 松益 芳清
一般女子			
	香川 横山 井下 エヌ子 キ久 子 田島 外茂子	神奈川 小大 林川 歌良 子子 二見 文子	岡山 権光 田本 節政 子子 小林 桂子
高校男子			
	山形 金板 森垣 義善 小林 弘憲賢	東京 鈴宮 木永 幸武 貝戸 春司肇	奈良 森榎 晃高 一嗣正 中川 安
高校女子			
	香川 藤有 本本 文と 子子 福本 和子	富山 高中 尾島 洋玲 子子 梅野尾 桂	石川 山川 崎竹 紀節 久子 多光
総合優勝	東京都		

第14回　昭和34年 東京都 足立区体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	神奈川 佐佐 藤藤 朗久 芳昌 関口 潔	石川 新酒 田井 治正 村田 夫治和 男	大阪 松小 王松 志博 清康 貢 小松
一般女子			
	神奈川 大二 川見 子子 良文 権野 子 みや	香川 横山 井下 エ子 キヌ 宮川 子 久ツヤ	富山 大高 坪島 子子 い 中 洋玲 子
高校男子			
	宮城 渡堀 辺江 一雄 紘保 昭宏 甲斐	北海道 竜竹 瀬中 康将 彦光 梅木 聰	神奈川 山岡 本崎 洋彦 小坂 恵三 拓充
高校女子			
	香川 蔵有 本木 子子 文と 福本 和子	静岡 伊志 沢村 利子 石原 セツ 待子	富山 梅橋 尾井 桂子 野智 酒 美智子
教員男子			
	神奈川 杉山 田本 博副 石原 義治	大阪 佐宝 藤来 茂雄 北野 敬四郎	東京 平市 田川 志郎 柳 登和 直規
総合優勝	神奈川県		

第15回　昭和35年 熊本県 菊池市体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
	東京 永北 井島 栄克 一英 貝戸 肇	神奈川 佐遠 藤藤 朗治 芳啓 勤 砥石	富山 荒扇 木沢 男徳 亥三 野 久幸 雄 大
一般女子			
	富山 高中 尾島 洋玲 子子 梅野尾 桂子	秋田 脇木 坂村 チ政 横山 エ子 満子	静岡 野伊 村沢 江子 志利 津 村 セツ
高校男子			
	神奈川 岡小 崎坂 恵拓 三充 長谷川 敏彦	山形 佐出 藤沢 勝勇 彦男 高橋 清一	新潟 阿笠 部原 孚淳 伊藤 洋祐
高校女子			
	富山 橋酒 井田 子子 知知 美美 子子 平 敦子	香川 横林 井 文 子子 森 信久子	秋田 高石 橋沢 子子 長崎 奉七 文子
教員男子			
	石川 北河 方原 匡夫 山 晴寛 茂藤	神奈川 杉山 田本 博副 石原 義治	秋田 奈脇 越坂 三隆 鈴木 龍安 裕
総合優勝	富山県		

第16回　昭和36年 秋田県 象潟町中学校体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
東京	片永星 石井野 兼栄忠 敏一男	神奈川 佐岡遠 藤崎藤 朗三治 芳恵啓	山形 板出北 垣沢村 藤勇 房男任
一般女子			
富山	桐橘酒 野尾井 桂智智 子子子	秋田 木横高 村山橋 政満奉 子子子	香川 宮福横 川井井 ツ知文 ヤ子子子
高校男子			
新潟	大安星 竹沢野 紘武義 一司昭	北海道 中松村 村浦本 富直 光潔治	山梨 平秋早 田山川 真 勲男博
高校女子			
山形	佐小矢 藤笠口 弘詔淳 子子子	静岡 高天影 木野山 紀博昭 子江子	秋田 伊横大 藤山門 美綾モ 津子子
教員男子			
石川	北河江 方原尻 匡晴圭 夫山三	神奈川 杉岡秋 田田山 博三彦 郎敬捷	秋田 脇鈴高 坂木橋 安裕弘 隆司喜
総合優勝	秋田県		

第17回　昭和37年 岡山 県立倉敷青陵高等学校体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
東京	星富井 野田門 忠鎮 男豊雄	神奈川 遠鈴岡 藤木崎 治勝三 啓敏恵	愛知 北小長 島宮川 英克好 雄一陽
一般女子			
香川	福横森 本井 知文久 子子子	富山 橘酒桐 井尾野 子子子 智智桂	秋田 木横高 村山橋 政満奉 子子子
高校男子			
新潟	本荒阿 田川野 務男紀 治善	東京 西須関 野田 一孝一 征夫誠	青森 奥長三 谷谷上 国 義 昭勇明
高校女子			
富山	橘室河 崎村 妙光和 子子子	秋田 大大間 塚門瀬 シ子子 トヨサ	岡山 高重七 塚政村 淳百泰 子枝子
教員男子			
石川	北河江 方原尻 匡山三 晴桂	神奈川 杉秋岡 田山田 博彦郎 捷敬三	秋田 脇鈴真 坂木崎 安祐俊 隆司光
総合優勝	東京都・富山県		

第18回　昭和38年 山口県 下関市体育館

	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
愛知	小板稲 宮垣熊 好善整 雄憲隆	東京 井宮堺 門永 鎮武栄 雄司一	島根 星富山 野田崎 忠春 男豊茂
一般女子			
秋田	横高長 山橋崎 満奉文 子子子	香川 田横森 島井 外文久 茂子子	富山 桐酒室 尾井崎 桂美光 子子子
高校男子			
新潟	星裏樋 野田口 義光一 夫男春	東京 関中古 村屋 一和 誠安正	北海道 福林久 島田保 智和 徳守男
高校女子			
栃木	前松小 沢本出 和昭千 子子子	新潟 後茂竹 藤沢内 子子子 和純泰	北海道 高高村 森田田 幸裕泰 子子子
教員男子			
石川	北河江 方原尻 匡山三 晴桂	神奈川 杉岡秋 田田山 博三彦 郎敬捷	大阪 大北片 古世野 吉四敬 弘郎輝 明
総合優勝	新潟県		

第19回　昭和39年 新潟県立 三条高等学校体育館

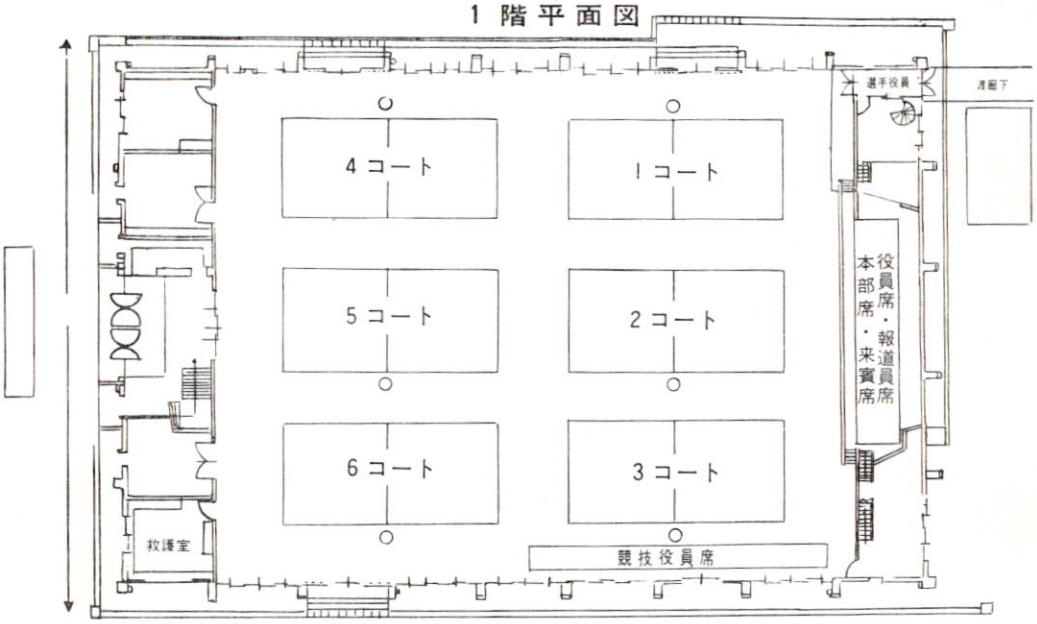
	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
愛知	小板岩 宮垣后 好善隆 雄憲昭	東京 永宮堺 井永栄 一司武	石川 新村沢 田田和 治男力
一般女子			
香川	横田森 井島外 文茂久 子子子	秋田 横高長 山橋崎 満寿文 子子子	岐阜 高天岩 木野后 紀博瑩 子江子
高校男子			
新潟	鈴神片 木田山 正和 造夫毅	奈良 森橋真 本壁 芳年 夫修一	富山 立盛高 野野林 政博弘 昭之則
高校女子			
栃木	植大武 木島田 カタコ初 子ヨ枝	新潟 竹石高 内本野 泰恵八 子子子	秋田 佐中加 木々川 美枝エ ミ子子
教員男子			
新潟	渡永佐 部井藤 紘俊 一司夫	石川 北河江 方山尻 晴桂 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田田山 敬捷 博郎彦
総合優勝	新潟県		

第20回　昭和40年 岐阜県 富田学園体育館

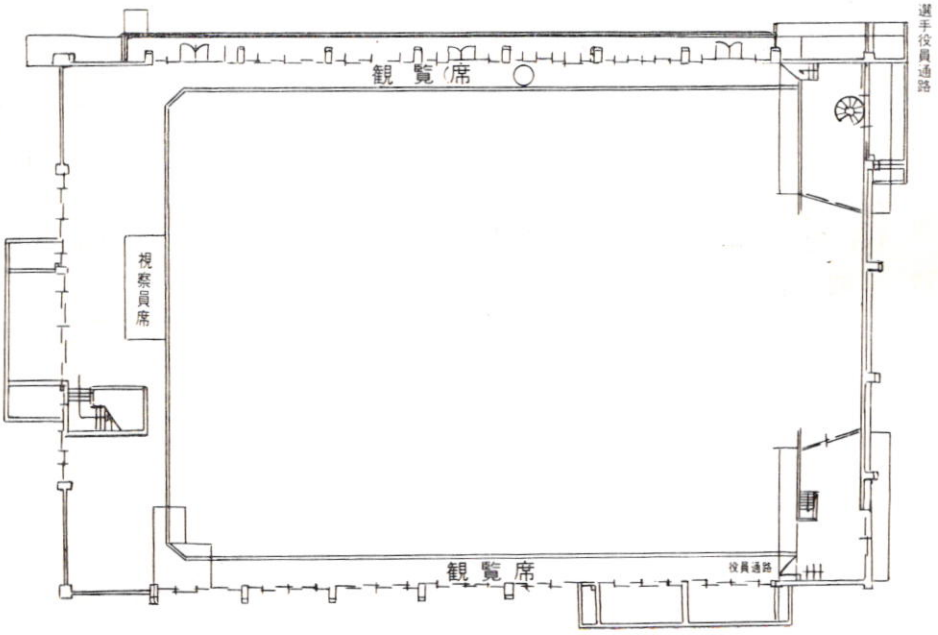
	(一 位)	(二 位)	(三 位)
一般男子			
愛知	小板長 宮垣谷 好善敏 雄憲彦	東京 堺宮田 永上 栄武十 一司六	香川 東山牟 条口礼 義立 昭朗顕
一般女子			
岐阜	高天高 木野田 紀博康 子江子	香川 横森加 井藤 文久和 子子子	新潟 後石竹 藤崎内 和妙泰 子子子
高校男子			
富山	梅寺中 尾前坪 昌信邦 一之雄	岐阜 堀杉尾 山関 幸美智 矩修則	奈良 真河滝 壁村野 俊憲公 才一一
高校女子			
大阪	近才池 藤脇田 光妙栄 枝子子	岐阜 高稲川 橋葉本 葉良美 子子子	栃木 上石吉 野崎田 明喜サ 美子子
教員男子			
石川	河北村 山原西 晴 夫匡一	北海道 杉笹中 田森島 茂弘 良剛志	岡山 毛三柳 利宅本 清堯 志勝敏
総合優勝	岐阜県		

第21回国民体育大会バドミントン大会会場配置図

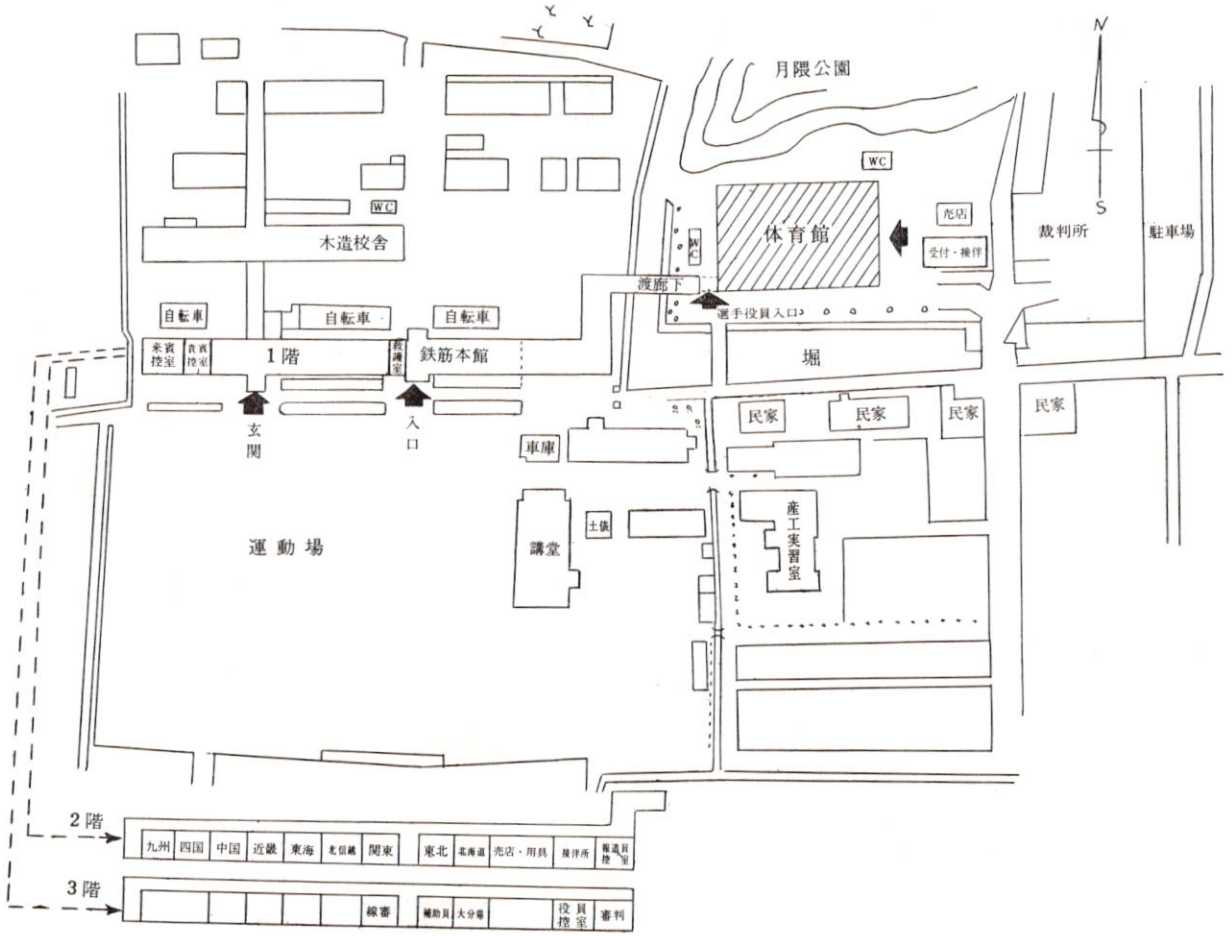
1階平面図



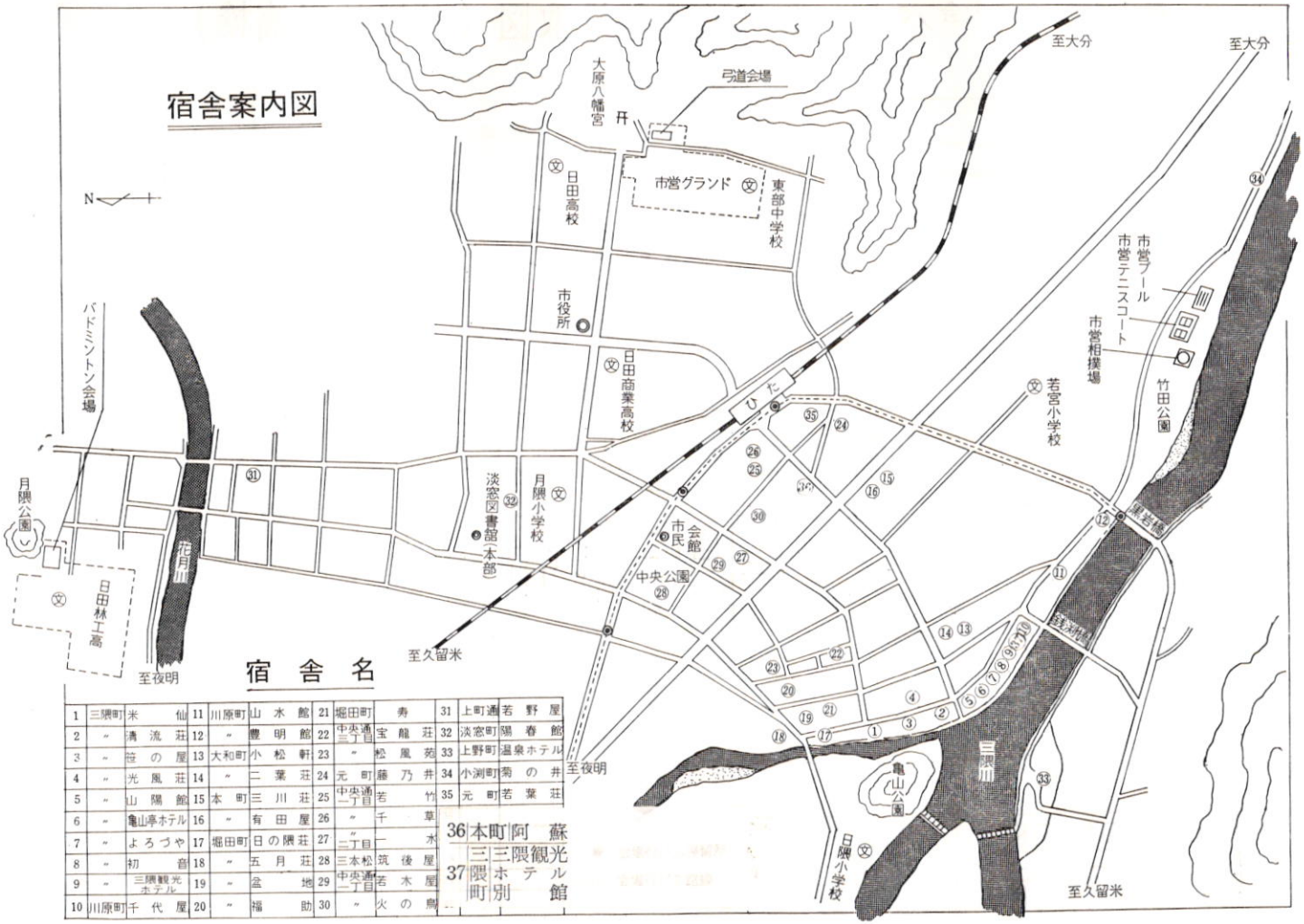
2階平面図



第21回国民体育大会 バドミントン会場見取図（日田林工高校）



宿舎案内図



宿舎名

1	三隈町	米仙	11	川原町	山水館	21	堀田町	寿	31	上町通	若野屋
2	〃	清流荘	12	〃	豊明館	22	中央通三丁目	宝龍荘	32	淡窓町	陽春館
3	〃	笹の屋	13	大和町	小松軒	23	〃	松風苑	33	上野町	温泉ホテル
4	〃	光風荘	14	〃	二葉荘	24	元町	藤乃井	34	小渕町	菊の井
5	〃	山陽館	15	本町	三川荘	25	中央通一丁目	若竹	35	元町	若葉荘
6	〃	亀山亭ホテル	16	〃	有田屋	26	〃	千草			
7	〃	よろづや	17	堀田町	日の隈荘	27	〃二丁目	一水			
8	〃	初音	18	〃	五月荘	28	三本松	筑後屋			
9	〃	三隈観光ホテル	19	〃	盆地	29	中央通一丁目	若木屋			
10	川原町	千代屋	20	〃	福助	30	〃	火の鳥			

36 本町 阿蘇光
37 三隈町 三隈観ホテル別館

宿舎一覧表

旅館名	代表者名	電話番号	宿泊人員	内訳			
				役員選手監督	視察員	報道員	
米仙	武内豊	2261	26	北海道 26			
清流荘	森島美恵子	3244	8	青森 4 岩手 4			
日の隈荘	岩下絹子	4148	35	宮城 12 栃木 11 鳥取 4 愛媛 4 宮崎 4			
五月荘	古賀サツキ	2862	16	秋田 16			
小松軒	小西九良二	3153	8	山形 8			
千代家	神崎悦乃	2164	19	福島 4 群馬 4 埼玉 7 千葉 4			
宝竜荘	児塔宝一郎	2246	10	東京 10			
笹の家	赤坂信人	2771	29	神奈川 12 新潟 17			
若野屋	西下寛一	3204	22	長野 4 岐阜 12 三重 5	三重 1		
山水館	松尾イキ子	3123	7	茨城 7			
初音	金丸静子	2637	4	富山 4			
寿	木下甚助	2285	16	石川 8 愛知 8			
菊の井	中島菊枝	3019	8	福井 1	福井 7		
火の鳥	江田久枝	2364	4	福井 4			
三川荘	江田愛子	3469	8	静岡 8			
陽春館	児培巨次郎	2631	5	山梨 4	山梨 1		
盆地	稲積タカ	2400	5	滋賀 5			
一水	高倉クラ	4556	16	京都 4 大阪 12			
藤乃井	藤井束	6125	14	兵庫 10 奈良 4			
二葉荘	高木八郎	2402	8	和歌山 8			
千草	田辺アキノ	3008	8	島根 4 広島 4			
光風荘	六角君子	3361	20	岡山 20			
筑後屋	高村シゲ	2383	5	山口 5			
若竹	溝江昇	2877	20	香川 20			
若葉荘	江田かほる	2878	4	徳島 4			
福助	石松桃枝	3262	4	高知 4			
若木屋	松原シカノ	3064	13	福岡 13			
豊明館	河津権太郎	2519	1		佐賀 1		
三限観光ホテル別館	諫山晴生	2188	49	長崎 4	長崎 45		
阿蘇	尾久保シズヱ	2239	12	熊本 12			
松風苑	伊藤マツヨ	2757	4	鹿児島 4			
三限観光ホテル	諫山晴生	5188	4	沖縄 4			
山陽館	宮崎直人	2134	17	中央 17		日本売日 1	
亀山亭ホテル	諫山林蔵	2193	14	近県 14		崎球映 1	
よろづや	大石正勝	3138	11	県内 11		西読毎 1	
温泉ホテル	松尾国三	5151	7			長琉日 1	
計			461			温泉ホテル 本新画 2	

時　刻　表

汽　車

久大本線（上り）

日田発	夜明発	久留米発	鳥栖着	（車　種）
4.39	—	5.46	5.57	
6.13	6.25	7.40	7.50	
6.56	7.12	8.25	8.37	
8.02	8.15	9.32	9.44	
9.08	9.23	10.27	10.37	
10.24	10.36	11.44	11.54	
11.10	11.23	12.33	12.44	
10.16	—	11.02	11.14	（急行西九州）
12.56	—	13.42	13.49	（急行ゆのか）
13.39	13.57	15.01	15.11	
14.49	15.01	16.14	16.25	
16 44	16.57	18.19	18.33	
18.14	18.30	19.24	止　—	
20.44	21.06	22.21	22.32	
19.38	—	20.27	20.35	（急行由布）
22.03	22.14	23.17	23.27	

久大本線（下り）

日田発	由布院発	大分着	（車　種）
7.18	9.16	10.36	
9.24	10.42	11.35	（急行由布）
11.32	13.45	14.56	
14.45	15.51止	—	（急行あさぎり）
16.14	18.07	19.33	
16.03	17.15	18.02	（急行ゆのか）
17.15	18.23止	—	（急行はんだ）
17.43	20.17止	—	
19.36	21.04	22.08	
18.43	20.05	20.58	（急行西九州）

日田彦山線（上り）

日田発	夜明発	門司着	（車　種）
5.08	5.25	8.21	
7.23	7.41	10.38	
9.26	—	11.19	（急行あさぎり）
10.00	10.15	13.14	
12.36	12.49	15.37	
14.03	—	16.13	（急行あきよし）
15.23	15.46	18.45	
17.14	—	19.05 小倉止	（急行ひこさん）
17.40	17.54	20.54	
19.46	—	21.32 小倉止	（急行日田）

日田彦山線（下り）

門司発	夜明発	日田着	（車　種）
6.45	9.58	10.11	
7.47	10.52	11.04	
11.06	—	13.15	（急行あきよし）
10.40	14.21	14.34	
12.48	—	14.43	（急行あさぎり）
13.37	16.37	16.52	
15.54	18.56	19.09	
17.47	21.03	21.16	

バ　ス

市　内　線

小淵発	日田駅	御幸橋着	御幸橋発	日田駅	小淵着
……	6.30	6.36	……	6.30	6.39
6.39	6.50	6.57	6.36	6.43	6.54
6.54	7.05	7.12	6.57	7.04	7.15
7.15	7.26	7.33	……	7.19	7.30
7.30	7.41	7.48	7.20	7.27	7.38
7.45	7.56	8.03	7.35	7.42	7.53
8.00	8.11	8.18	7.50	7.57	8.08
8.10	8.21	8.28	8.05	8.12	8.23
8.30	8.41	8.48	8.20	8.27	8.38
8.45	8.56	9.03	8.35	8.42	8.53
9.00	9.11	9.18	8.50	8.57	9.08
9.15	9.26	9.33	9.05	9.12	9.23
（この間15分ごとに運行）			（この間15分ごとに運行）		
17.45	17.56	18.03	17.50	17.57	18.08
18.00	18.11	18.18	18.05	18.12	18.23
18.15	18.26	18.33	18.20	18.27	18.38
18.30	18.41	18.48	18.35	18.42	18.53
18.45	18.56	19.03	18.50	18.57	19.08
19.00	19.11	19.18	19.05	19.12	19.23
19.15	19.26	19.33	19.20	19.27	(止)…
19.37	19.48	19.55	19.35	19.42	19.53
20.00	20.11	20.18	19.57	20.04	20.15
20.22	20.33	20.40	20.20	20.27	20.38
20.45	20.56	21.03	20.42	20.49	21.00
21.00	21.09	(止)…	21.03	21.09	(止)…
運賃	20円	30円	運賃	15円	30円

第21回国民体育大会日田市実行委員会委員名簿

（順序不同敬称略）

会長	岩尾精一			
副会長	荒川九州男	石井正	佐藤史郎	合谷均
	中野勇			
顧問	広瀬正雄	穴井助三	安心院保	松尾勇
参与	山下広登	佐藤守	岩野熊司	松並篤
	永井三郎	佐藤峯雄	佐々木守一	守田敏雄
	梅木澄人	小野秀夫	水上武久	西村亀喜
	岩尾公俊	近藤正蔵	池田重利	小井手今朝喜
	田畑親	坂井明朗	落合司郎	武田福磨
	古城千秋	米原清	原俊一郎	
監事	有富素	財津徹		
常任委員	山下広登	瀬戸安武	梶原哲	武内正人
	井上鉄次郎	高瀬清	佐藤界三	後藤茂雄
	佐藤敏郎	千原小一郎	武内梅蔵	新田元周
	小関弘文	二串百治	六角丸一	高山久吉
	池田範六	光永礼	井上高明	渡辺徹
	石井良太郎	広瀬厚	千原幸彦	原田喜八郎
	梶原敬悟	中島ミ子	森山利夫	清原夏男
	石松安次	梶原寅次郎	大蔵友三郎	後藤文太郎
	佐藤吾作	久恒正春	坂本武信	藤原強
	石松直	池氷行雄	渡辺種一	

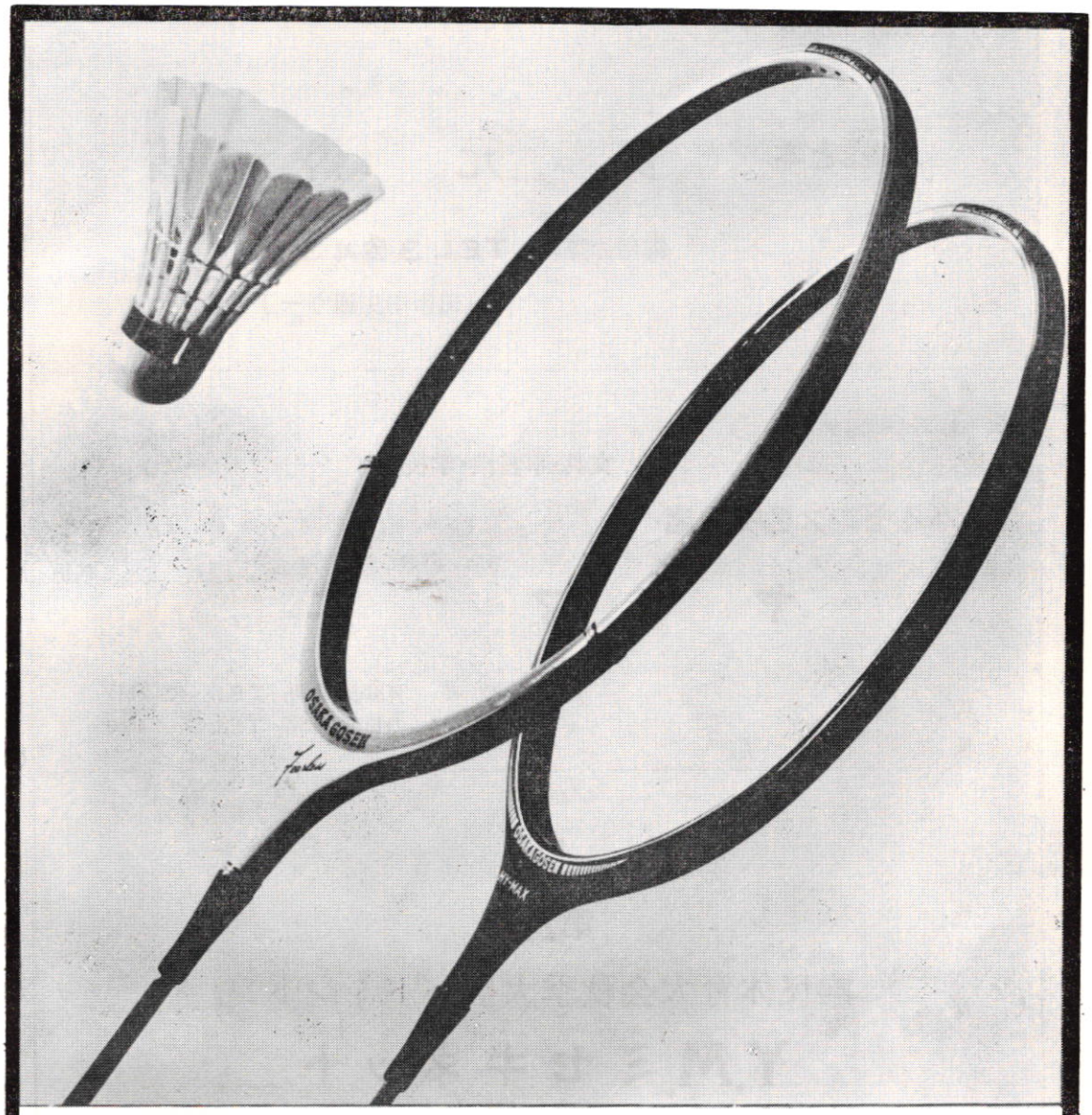
日田市行幸啓事務本部機構

本部長	岩尾精一		
副本部長	佐藤史郎		
部長	清原夏男		
副部長（総務担当）	石井久雄	副部長（特別奉送迎担当）	中山寿
副部長（準特別奉送迎担当）	平島邦夫	副部長（一般、団体奉送迎担当）	高山英敏
副部長（清掃救護担当）	石松直	副部長（警備担当）	梶原敬悟
総務係長	大場忠助	特別奉送迎係長	武内敏幸
準特別奉送迎係長	野田清己	一般団体奉送迎係長（小中高校除く）	衛藤徳典
一般団体奉送迎係長（小、中、高校）	坂本辰夏	清掃救護係長	河野保
警備係長	出野誠		

第21回国民体育大会　日田市実行委員会事務局機構

総務企画部	部長	石松　安次	総務企画係長	異儀田　満	
	副部長	諫山　家達		梅野　政敏	(式典担当)
			会計係長	武内　敏幸	
			庶務係長	桜木　敏光	
財務部	部長	大蔵友三郎	財務係長	衛藤　徳典	(兼)
	副部長	坂本二美人	用地係長	平井　昭三	
施設部	部長	後藤文太郎	施設係長	伊藤　隼人	
	副部長	渡辺　種一	土木係長	宮本　光男	
		武内伊勢男		池氷　昭秋	
		楢原　正彦		樋口　実男	
競技部	部長	佐藤　吾作	競技係長	(弓)森　誠治	
	副部長	千原　幸彦		(漕)坂本　純一	
		梶原　敬悟		(バ)後藤　恒彦	
		高波　善雄	会場係長	(弓)高波　善雄	
				(漕)高取　純誓	
				(バ)宮崎　宣也	
			選手係長	(弓)武内　敏幸	
				(漕)島　弥八郎	
				(バ)河津　信男	
輸送部	部長	久恒　正春	輸送係長	柴尾　雅雄	
	副部長	山下　轍		小埜日出一	
		井上　光	車輌係長	清水十四九	
宿泊観光部	部長	坂本　武信	宿泊係長	児玉　正次	
				其田　五見	(庶務担当)
				高瀬　正次	(接伴担当)
			宿舎係長	田辺　千馬	
			観光係長	伊藤　正則	
接伴部	部長	藤原　強	接伴係長	森山　良一	
	副部長	川原　一男		野田　清己	
			装飾係長	本河　一義	
衛生部	部長	石松　直	環境衛生係長	森山一二三	
	副部長	久恒　隆弘		河野　保	(庶務担当)
			救護係長	浦上　純義	
			予防衛生係長	栗山　政人	
警備交通部	部長	梶原　敬悟	警備係長	中原　三郎	
	副部長	出野　誠	交通係長	衛藤　徳典	
市民運動部	部長	梶原寅次郎	市民運動係長	伊藤　正男	
	副部長	後藤　英彦	吹奏楽係長	坂本　辰夏	
		興津　繁			
		高取　純誓			

会長	岩尾	精	一	
副会長	荒川	九州男		
	石井		正	
	佐藤	史	郎	
	合谷		均	
	中野		勇	
事務局長	上野	吾	介	
参事	佐藤	吾	作	
	千原	幸	彦	
次長	長		猛雄	



GOSENがつくる完ペキの製品群

ゴーセンラケット

ハイマックス　フィアレス
フレームが変形することなく
ガットが強く張れ、一層強力
なる反撥力を発揮する

ゴーセンガット
ハイシープ

いかなる条件にも変化がなく
強力な反撥力と変化球の冴え
を水鳥シヤトルに一段と発揮
する

O・G・S・
水鳥シヤトルコック

検定球・試合球・練習球
R．S．Lと比し遜色のない
飛びに加へ耐久力は抜群あら
ゆる面をリードする

大阪合繊株式会社

本　社大阪市東区豊後町4番地
TEL（942）5816～8・3416～7
東京都台東区浅草橋8－20－6
TEL（866）－8　4　3　5

祝　第21回国民体育大会

雑誌と本　**安　元　書　店**

御用の際は　TEL 3543 へ！

日田市中央通り一丁目

祝　第21回国民体育大会

文具・事務機・学校教材

ハイセンスの文具店

ヤ　マ　ニ

本　店　日田市大和町　TEL（代）5145

豆日店　日田市中城町　TEL　4689

祝

第21回

国民体育大会秋季大会バドミントン

Y.M.ミセキネット

第1回以来検定合格・本大会使用ネット

いつも安心して使用出来るネットです

是非御愛用下さい

埼玉県幸手町

ミセキネット製作所

TEL 048042（幸手）379

カタログ御申越次第御送りします

新しい住まいづくりに奉仕する
住まいの総合新建材
新築・増改築無料相談センター

株式会社 諫本新建材センター

大分県日田市三本松町新大通　TEL　3372・4707

祝　第21回国民体育大会
社団法人
大分県建設業協会日田支部

支部長　角　　勝
日田市田島町　TEL　4325

祝　バドミントン

日田地区タクシー協同組合

三重野タクシー　TEL 3161
イサゴタクシー　TEL 3135
三隈　タクシー　TEL 5148
観光　タクシー　TEL 5353

梅原火薬店

大分県日田市大部町
電話日田3612

お買物は……

みんなで育てた羽ばたくスーパー

ダイホー

日田市三本松町 TEL5174

日田の代表おみやげに

銘菓

杉丸太

そば饅頭

日田市三隈町一丁目

大黒屋菓子舗

TEL 2363

第21回

国体記念品として

時計・貴金属・宝石

を選びましょう

お買上げは是非 合資会社 上野時計店で

日田市庄手通り亀山町 TEL2772

原

醤油

大分県日田市本町二丁目

原沢合名会社

電話4145・4146番

油絵具と画材
デザイン用品
NCR 電動加算機
アマノタイムレコーダー
デユプロ印刷機
ドラフター設計機械
事務用機器具

おがわ文具店

日田市豆田町8～16
TEL 2836
信用金庫豆田支店前

ストアー

合名会社 **だるまや商店**

代表者 飯田 清
電話 4131

48時間カラー写真仕上
(郵送確実)
カメラと D.P.E

有限会社 **日の出カメラ**

日田市三本松寿通(西銀前) TEL 4050番

祝　第２１回国民体育大会

大分銀行日田支店
大分銀行豆田支店
大分県信用組合日田支店
筑邦銀行日田支店
西日本相互銀行日田支店
日田信用金庫
肥後相互銀行日田支店
福岡銀行日田支店
福岡相互銀行日田支店
豊和相互銀行日田支店

（50音順）

味噌　醤油

田中醸造場
大分県日田市三芳小淵町
電話　日田 2570番

シルバー編機
シンガーミシン

其の他シンガー家庭用品全部
編機部品一切

江藤ミシン店

日田市本町二丁目　TEL 5314

お買物は

いわたやで

ご贈答に　便利重宝な

岩田屋の商品券

全国二十一都市にて共通して
ご使用になれます

営業時間　開店 午前9時30分
閉店 午後6時

日田 岩田屋

日田市本町二丁目 TEL5111

美容と健康に奉仕する

つちや 薬局

日田市港町5番27号

TEL 3030

祝　第21回国民体育大会

早く、しかも確実にとれる自動車運転免許



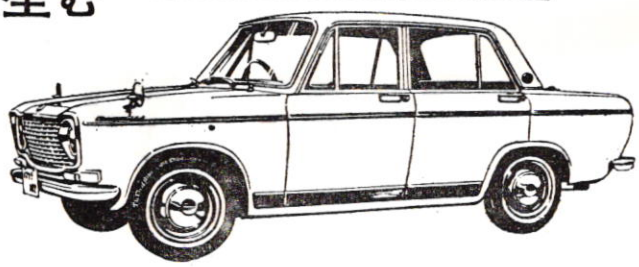
合格率九州一
実技試験免除

大分県公安委員会指定
公認 日田自動車学校

日田市桃山町
電 話 4204番

古い伝統が
新しい技術を生む

コルト1000
1000cc ● 55馬力 ● 時速130キロ ● 5人乗



自 動 車

コルト1000・コルト1500
デボネア・ジープ
ジユピター・ジユピタージユニア

大分菱和自動車株式会社

日田営業所　日田市玉川町　TEL 4191
本　　社　大分市大道町2丁目

水郷日田の清酒

老松　おいまつ

角の井　かくのい

薫長　くんちょう

慈恩　じおん

民の寿　たみのことぶき

内閣　ないかく

旭窓　あさひまど

祝　大分国体

日田市農業協同組合

組合長　荒川九州男

大分県日田市田島二丁目　電話日田２１１１番



創業明治45年

伝統は物語る
それは信用です

製造品目

応接セット
二段ベット
座卓子
各種漆器

日田ファニチュア
日田漆器株式会社

本　　社　大分県日田市日ノ出町1ＴＥＬ日田5196－7
漆器工場　大分県日田市淡窓2丁目2－20
東京出張所　九州工芸（横浜市神奈川区白楽103）

創業明治十六年

五印風旗浴のた和
月半呂・　れお手
幟纒敷幕衣んる拭

製　　造

合資会社　**帆足染工本店**

日田市本町一丁目　ＴＥＬ　３２１１

応接セット椅子　三隈（みくま）

— 営業品目 —
応接セット、デツキチアー
机、本棚　事務用椅子

4、5畳～6畳向



日田（重）伊東木工KK

本社工場	大分県日田市南友田字其田70	TEL　5101～2
北友田工場	大分県日田市北友田一丁目1423の1	TEL　3641
関東地区代行店 日田家具KK	東京都江戸川区一之江四丁目61	TEL　(651)5668

豊かな暮しのアクセサリー

ゴージャスなデザイン
青柳の椅子 A

モダンな中にチヨツピリクラシツクをアレンジ
した個性的なセツトです。





応接六点セット　山脈（やまなみ）

（実用新案・意匠登録出願中）
（類似商品にご注意）

青柳木工有限会社

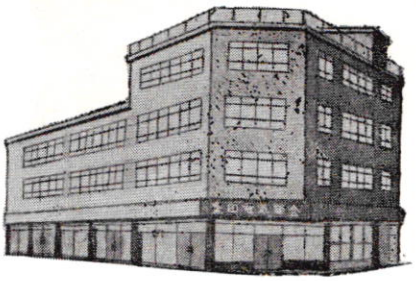
本　　社　／　大分県日田市日ノ出町33　TEL　(09732)－6131
東京営業所　／　東京都調布市深大寺1218　TEL　(0424)82・0351

ナショナル

電化ひとすじに40年!!

技術の豊田!!

おかげ様にて新しい店舗が出来ました。
全メーカーの電化製品の修理を御相談下さい



ナシヨナル電化全製品

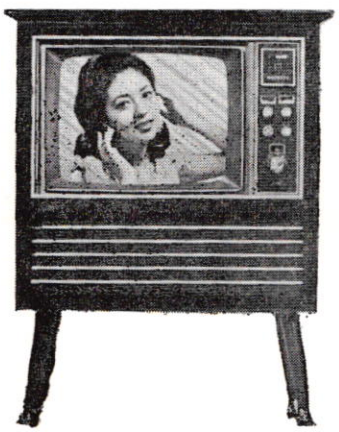
ステレオ・テレビ(カラー 白 黒)

新店舗（自動扉付）　豪華ムードの展示

有会
限社 **豊田電器商会**

日田市本庄町国道210号線交叉点　TEL　4181～4182

ナショナル 月賦代行店



ナショナル 全電化製品小売

佐藤電器商会

日田市本庄町（映劇前）TEL 3577

管工事．水道資材販売業
暖冷房．給排水衛生設備
設計施工



大日水道機工合資会社

代表社員　江　藤　秀　次

日田市本町1丁目　TEL（代表）2105

水道工事は信用ある指定工事店へ

日田市水道指定工事店組合（登録順）

大日水道機工合資会社　本町一丁目　TEL（代）二一〇五
中野工機　元町　TEL四二〇六
能美電気　淡窓二　TEL四六一八
武下建材株式会社　中央通一　TEL（代）三一〇一
長谷部ポンプ商会　三本松　TEL二九七四
伊藤ポンプ店　吹上町　TEL三九八六
鈴木電気　本庄町　TEL二五六九
長谷部水道工業所　吹上町　TEL三三四七
加藤電工　大和町　TEL二八五五
宮崎電気商会　大和町　TEL三七一四
穴井電気商会　三芳小淵　TEL五四二三
ワカバ電気商会　豆田十番　TEL二六一二
日田管工　若宮町　TEL四四三一
千原電気事業所　本庄町　TEL二二七三
貞清ポンプ店　日ノ出町　TEL五三七六

日田みやげ品組合

こけし人形
各種土産品
（有）吉田工芸社
日田市港町八ノ二
TEL 四四二四

竹花器、竹銘々皿、竹コップ
焼杉工芸品
相良工芸社
日田市田島町四一九
TEL 四五二三

カッポリ人形
岩尾工房
日田市丸ノ内一〇ノ七四

豆ぞうり、豆下駄
富士工芸社
日田市中央通二丁目
TEL 五五四一

鵜舟、鵜匠、遊船
其ノ他玩具
宿利工芸社
日田市豆田町三ノ三
TEL 四五四二

日本一
趣味と実益に富む竹製工芸品
国体マーク入孫の手並にキーホルダー
製造本舗 日田市
美野竹友堂

堆朱アクセサリー
閑琢荘工房楢原
日田市丸山町二一一
TEL 三三八一

応接セット、二段ベット
各種漆器
日田漆器株式会社
日田市淡窓二丁目二ノ二〇
TEL 二三六〇

日田のおみやげに

元祖

登録商標
そば饅頭総本店
布善本舗
日田市 電話二五一四

布善のそば饅頭

早目に下記の店に御注文の程お願いします

日田市大和町三丁目 布善本舗 電話5752番
日田市大和町二丁目 布善小売部 電話2514番
日田市三隈町一丁目 布善支店

＊輸入発売！



最高級のバドミントンラケット

Dunlop Maxply
Fort Under 5

世界的高級品といわれている Dunlop Maxply Fort Under 5 シヤトルコック　特製ガット いづれも英国製を発売しています。アンダー5はすでに全英大会　世界選抜招待トーナメント、オランダ、ドイツ、デンマーク、アイルランド、スコットランド、カナダその他の各選手権大会で使用されております。

Dunlop

総発売元

サンバタ

株式会社 諸江製作所

東京都渋谷区幡ヶ谷2の21

日本ダンロップ護謨株式会社

祝 第二十一回国民体育大会



船遊飼鵜は夏

水郷日田温泉へ

春秋冬は温泉

山紫水明!!九州の京都

いろよに季四

(順ハロイ)

初音	電(代)二六三七番	
千代家	電(代)二一六四番	日観連
よろづや	電(代)三一三八番	国観連
小松軒	電(代)三一五三番	口観連
山陽館	電(代)二一三四番	政府登録国観連
山水館	電(代)三一二三番	日観連
亀山亭ホテル	電(代)二一九一番	政府登録国観連
三隈観光ホテル・別館	電(代)五一八八番	国観連
日の隈荘	電(代)四一四八番	
日田温泉ホテル・会館	電(代)五一五一番	日観連

東洋一の設備と技術が生み出す

マルエイ完全配合飼料

製造品目
養鶏用　乳牛用
養豚用　養魚用
其の他各種配合飼料

日本農産工業株式会社

本　　社　横浜市神奈川区新浦島町二ノ二
中央研究所　横浜市港区台村町一
工　　場　門司、坂出、名古屋、横浜、小樽

代理店　日田飼料株式会社

取締役社長　高瀬恒太

日田市三本松二一四　電話２０５３・５６４７

バドミントンの気品
CMの風格

水鳥シャトルコックなら
アジアの消費を一手に申し受けます

世界無類のステップ付
ラケット



TOYODA

株式会社 バドミントントヨダ 東京

東京都三鷹市井の頭4－8－7　TEL 0422(43)4389・9416



ギヤエムマークで80年

ミヤタの自転車

宮田工業株式会社
本　　社／神奈川県茅ケ崎市茅ケ崎３６７
福岡営業所／福　岡　市　大　手　門　２　－　１　－